

著者名:	論文題名:	掲載誌名:	掲載巻:	掲載号:	発行年:	掲載頁:
中島力造	「ヘーゲル氏」弁証法	哲学会雑誌	4	48	1890	p712～ 722
清沢満之	西洋哲学史講義(真宗大学寮講義)	上杉文秀・岡本覚亮筆記、藤分法賢清書(『清沢満之全集』第二巻所収)			1890～ 1893	p184～ 711
園田宗恵	ヘーゲルノ弁証法(Dialektik)と東洋哲学	哲学雑誌	7	69	1892	p461～ 468
上杉慎吉	国家学史上に於けるヘーゲルの地位	法学協会雑誌	22	7	1904	p999～ 1015
吉野作造	ヘーゲルの法律哲学の基礎	法学協会雑誌	22	7	1904	p1271～ 1310
紀平正美	ヘーゲル哲学と其の翻訳に就て	哲学雑誌		218	1905	p161～ 171
戸水寛人	Hegelの学説	法学協会雑誌	26	8・9	1908	p696～
紀平正美	矛盾に対する三様の態度及び相互の関係	哲学雑誌		264	1909	p135～ 166
元良勇次郎	ヘーゲルの存在論に就て	哲学雑誌		272	1909	p905～ 928
紀平正美	ヘーゲルの国家論	丁酉論理会論理講演集		111	1911	p33～71
今沢慈海	ヘーゲル	中島力編『泰西作哲像伝』			1912	p289～ 296
田辺元	独逸唯心論における哲学的認識の諸問題	哲学研究(京都大学)	3	2・3	1918	p33～76
木村亀二	新「ヘーゲル」派の法律哲学	法学協会雑誌	39	9(8?)	1921	p156～ 170
木村亀二	新「ヘーゲル」派の法律哲学	法学協会雑誌	39	11	1921	p144～ 167
紀平正美	現象学(Phanomenologie)に就て	哲学雑誌		218	1923	p7～17
今中次磨	ヘーゲルの国家理念論の考察	国家学会雑誌	38	11	1924	p38～66
紀平正美	アリストテレースとヘーゲルとの推理図式に就て	思想		29	1924	p1～21

久留間紋造	ヘーゲルの哲学史とマルクスの経済学史	大原社会問題研究所雑誌	2	2	1924	p541～572
関栄吉	ヘーゲルの社会哲学	講座		8	1924	p1～22
関栄吉	ヘーゲルの歴史哲学	思想		34	1924	p31～45
鼓常良	ヘーゲルの美学	講座		21	1924	p1～56
三土興三	HegelのPhänomenologie des Geistes	哲学研究	9	2	1924	p78～161
紀平正美・小野正康	ヘーゲルの国家論	外交時報		484	1925	p19～38
紀平正美	ヘーゲルの宗教論及宗教と国家との関係論	丁酉論理講演集		268	1925	p58～79
紀平正美	ヘーゲルの宗教論及宗教と国家との関係論	丁酉論理講演集		269	1925	p88～106
平井新	マルクス社会学説の起源並にこれに対するヘーゲル、フョイエルバッハ、シュタイン及びプルードンの影響	三田学会雑誌	19	3	1925	p144～187
石津照瑩	ヘーゲルの宗教哲学	宗教研究	3	4	1926	p139～151
土田杏村	ヘーゲル哲学とマルクス、レニンの弁証法的唯物論	社会科学(改造社)	2	8	1926	p187～218
矢崎美盛	ヘーゲルの学位論文についての穿鑿	思想		56	1926	p133～167
紀平正美	ヘーゲルの哲学	『哲学講座6, 8, 9, 10』(近代社)			1926～1927	110p
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	12	3	1927	p1～21
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	12	5	1927	p1～37
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	12	7	1927	p1～36

米田庄太郎	ロッシャーの歴史経済学の根本思想とヘーゲルの哲学	経済論叢(京都大学)	24	5	1927	p80~99
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	13	5	1928	p1~51
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	13	11	1928	p1~37
恒藤恭	ヘーゲルによる自然法学批判について	法学論叢(京都大学)	20(21?)	1	1928	p54~83
恒藤恭	ヘーゲルによる自然法学批判について	法学論叢(京都大学)	20(21?)	3	1928	p391~418
恒藤恭	ヘーゲルによる自然法学批判について	法学論叢(京都大学)	19(20?)	5	1928	p993~1014
恒藤恭	ヘーゲルによる自然法学批判について	法学論叢(京都大学)	19(20?)	6	1928	p1212~1213
三木清	ヘーゲルとマルクス	三木清『唯物史観と現代の意識』(岩波書店)			1928	p115~153
三木清	有機体説と弁証法	新興科学の旗の下に	1	3	1928	p2~23
赤松要	ヘーゲル社会の弁証法的考察—静学的弁証法と動学的弁証法	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p77~100
石津照璽	ヘーゲルに於ける宗教の概念	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p117~129
岩崎勉	ヘーゲルに於ける「精神の気随」—偶然的なもの原因に就て	理想		10	1929	p310~314
岩崎勉	ヘーゲルに於ける時間の問題	理想		9(特輯ヘーゲル)	1929	p130~142
大江精一	ヘーゲルの弁証法に就いて	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p52~76
大江清一	新ヘーゲル学派の立場	理想		12	1929	p103~118
金子武蔵	ヘーゲルの弁証法に関する—考察	哲学雑誌		506	1929	p209~241

金子武蔵	ヘーゲルの弁証法に関する一考察	哲学雑誌		507	1929	p429～444
河野正通	ヘーゲルの史的弁証法に就いて	思想(特輯弁証法研究)		89	1929	p95～116
児玉達童	ヘルバルト対ヘーゲル—排中律に関する両者の見解に就ての若干の考察	理想		10	1929	p249～272
三枝博音	Hegelの論理学	ヘーゲル及弁証法研究		1	1929	p1～10
三枝博音	ヘーゲル学に於ける社会認識の地位	ヘーゲル及弁証法研究		2	1929	p1～10
三枝博音	ヘーゲル哲学における経済考察の地位	ヘーゲル及弁証法研究		3	1929	p1～5
三枝博音	Hegel論理学の要領	ヘーゲル及弁証法研究		5	1929	p1～22
三枝博音	ヘーゲル哲学における経済考察の地位	ヘーゲル及弁証法研究		4	1929	p1～8
三枝博音	ヘーゲルに於ける「矛盾」について	ヘーゲル及弁証法研究		7	1929	p1～11
三枝博音	ヘーゲル理解の一つの鍵	ヘーゲル及弁証法研究		11	1929	p1～5
三枝博音	ヘーゲルに於ける質と量	ヘーゲル及弁証法研究		12	1929	p1～10
新明正道	マルクスとヘーゲル—おぼえがき	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p143～162
鈴木権三郎	ヘーゲル弁証論に関する一考察	思想(特輯弁証法研究)		89	1929	p181～186
竹下直之	具体的普遍—ヘーゲルに就て	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p31～51
立沢剛	エロイジス—ヘルデリンとヘーゲルの友情と世界観との記録として	理想(特輯ヘーゲル)		9	1929	p163～201
田辺元	弁証法の論理	哲学研究	14	9	1929	p1～54

田辺元	行為と歴史、及び弁証法 野之に対する関係	思想		89	1929	p2～27
仲小路彰	人間ヘーゲルとその弁証 法的後景	ヘーゲル及弁 証法研究		2	1929	p11～28
仲小路彰	弁証法の論理的基礎に 関する問題—ヨナス・コー ンの『弁証法の論理』に 対する批判	ヘーゲル及弁 証法研究		6	1929	p18～34
仲小路彰	ヘーゲル史的弁証法	ヘーゲル及弁 証法研究		9	1929	p18～38
仲小路彰	ヘーゲル史的弁証法	ヘーゲル及弁 証法研究		10	1929	p25～32
二木保幾	ヘーゲルよりマルクスへ の「唯物論的」展開の認 識論的意味に就いて	理想(特輯 ヘーゲル)		9	1929	p14～30
松原寛	ヘーゲルの歴史哲学	理想(特輯 ヘーゲル)		9	1929	p101～ 116
三木清	ヘーゲルの歴史哲学	思想		83	1929	p38～63
三木清	弁証法に於ける自由と必 然	思想(特輯弁 証法研究)		89	1929	p117～ 149
石津照璽	ヘーゲルとキェルケゴール の対比	理想		20	1930	p101～ 109
石橋智信	ヘーゲル右党の神学	宗教研究(臨 時特輯現代宗 教批判)		7	1930	p181～ 189
魚木忠一	ヘーゲルの弁証法と神学	基督教研究 (同志社大学)	8	1	1930	p47～81
河合栄治 郎	グリーンのカント・ヘーゲ ル批判	経済学論集 (東京大学)	8	3	1930	p35～46
栗原百寿	ヘーゲル・ルネッサンス の問題—その方向系数 の決定	思想		101	1930	p110～ 127
小島威彦	弁証法の世界	思想		97	1930	p680～
三枝博音	質と量	ヘーゲル及弁 証法研究		13	1930	p1～13
三枝博音	質に於ける諸範疇	ヘーゲル及弁 証法研究		14	1930	p1～14

三枝博音	質に於ける諸範疇	ヘーゲル及弁証法研究		15	1930	p1～11
三枝博音	ヘーゲルに対する曲歪—ニコライ・ハルトマンの批判	ヘーゲル及弁証法研究		16	1930	p1～23
三枝博音	論理の科学と法律哲学との関係	ヘーゲル及弁証法研究		18	1930	p1～18
三枝博音	『精神の現象学』と其の後に於ける著作	ヘーゲル及弁証法研究		19	1930	p1～18
三枝博音	質の量への移行	ヘーゲル及弁証法研究		20	1930	p1～17
三枝博音	量と諸範疇	ヘーゲル及弁証法研究		21	1930	p1～17
三枝博音	量と諸範疇	ヘーゲル及弁証法研究		22	1930	p1～19
三枝博音	ヘーゲル論理学によるマルクス資本論の解釈—特に商品及貨幣論の論理的構造に就いて	ヘーゲル及弁証法研究		23	1930	p1～28
三枝博音	ヘーゲル論理学によるマルクス資本論の解釈—特に商品及貨幣論の論理的構造に就いて	ヘーゲル及弁証法研究		24	1930	p1～14
竹下直之	ヘーゲルの社会哲学	理想		19	1930	p164～178
田辺元	道徳的主体と弁証法的自由	思想		100	1930	p27～44
三木清	形式論理学と弁証法	理想		15	1930	p10～35
脇坂光次	ヘーゲル『論理学』の理解	哲学研究	15	6	1930	p9～110
赤松要	ヘーゲル弁証法とマルクス	理想(特輯 ヘーゲル復		22	1931	p57～73
麻生義輝	ヘーゲルの美学	理想(特輯 ヘーゲル復		22	1931	p221～23
石津照璽	生に関する青年ヘーゲルとヘルダリンの思想の連関	宗教研究	8	5	1931	p31～52

石津照壘	ヘーゲル青年時代の宗教研究－彼の体系に関連する脈絡	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p152～ 167
今田竹千代	ヘーゲルの歴史哲学	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p232～ 244
岩崎勉	カント主義とヘーゲル主義	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p116～ 136
岩崎勉	ヘーゲル哲学と理想主義－汎理性主義の批判	理想	21	1931	p100～ 114
大江精志郎	ヘーゲルとハイデッガー	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p133～ 147
大西克礼	ヘーゲルの美学と浪漫主義	『国際ヘーゲル連盟日本版(百周年忌念)ヘーゲルとヘーゲル主義』(岩波書		1931	p277～ 316
大森義太郎	ヘーゲルとレーニズム	理想(特輯 ヘーゲル復興第2冊)	26	1931	p43～60
樺俊雄	ヘーゲル・ルネサンス	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p257～ 262
紀平正美	日本精神とヘーゲルの弁証法	哲学雑誌 (ヘーゲル百年記念)	538	1931	p27～47
紀平正美	ヘーゲルの弁証法への手続き	思想(特輯 ヘーゲル研究)	113	1931	p26～44
紀平正美	ヘーゲル弁証法と東洋精神	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22	1931	p49～56
木村素衛	ヘーゲルに於ける芸術のイデー	思想(特輯 ヘーゲル研究)	113	1931	p139～ 160
久保虎賀寿	ヘーゲルに於ける異教的なるもの	思想(特輯 ヘーゲル研究)	113	1931	p161～ 183
桑木巖翼	ヘーゲルの背後に在すもの	哲学雑誌 (ヘーゲル百	538	1931	p1～26
小寺祥吉	ヘーゲルの書簡	ヘーゲル及弁証法研究	31	1931	p28～33
小寺祥吉	ヘーゲルの書簡	ヘーゲル及弁証法研究	32	1931	p32～41

小松摂郎	ヘーゲルに於ける意識の弁証法	思想(特輯 ヘーゲル研 究)	113	1931	p106～ 121
小松摂郎	弁証法論理の基礎	哲学雑誌	533	1931	p616～ 647
小山鞠絵	自覚と弁証法(1)	思想(特輯 ヘーゲル研	113	1931	p210～ 236
小山鞠絵	批判と体系	『国際ヘーゲ ル連盟日本版 (百周年忌記念) ヘーゲルと ヘーゲル主 義』(岩波書 庫)		1931	p93～161
三枝博音	論理の科学と法律哲学との関係	ヘーゲル及弁 証法研究	18	1931	p1～18
三枝博音	ヘーゲル論理学の中軸	理想(特輯 ヘーゲル復	22	1931	p183～ 198
三枝博音	資本論に於けるヘーゲル論理学の結実—特に商品及貨幣論の論理的構造に就て	ヘーゲル及弁 証法研究	25	1931	p1～13
三枝博音	資本論に於けるヘーゲル論理学の結実—特に商品及貨幣論の論理的構造に就て	ヘーゲル及弁 証法研究	26	1931	p1～17
三枝博音	資本論に於けるヘーゲル論理学の結実—特に商品及貨幣論の論理的構造に就て	ヘーゲル及弁 証法研究	27	1931	p1～14
三枝博音	資本論に於けるヘーゲル論理学の結実—特に商品及貨幣論の論理的構造に就て	ヘーゲル及弁 証法研究	28	1931	p20～34
三枝博音	マルクス貨幣理論に於ける弁証法	ヘーゲル及弁 証法研究	30	1931	p40～46
三枝博音	マルクス貨幣理論に於ける弁証法	ヘーゲル及弁 証法研究	31	1931	p1～12

三枝博音	マルクス貨幣理論に於ける弁証法	ヘーゲル及弁証法研究		32	1931	p42～54
島芳夫	ヘーゲルの歴史哲学	哲学研究	16	4	1931	p27～56
島芳夫	ヘーゲルの歴史哲学	哲学研究	16	11	1931	p37～8
吹田順助	ヘーゲルと独逸浪漫主義	理想(特輯 ヘーゲル復		22	1931	p93～105
鈴木権三郎	ヘーゲルの自然数論	思想(特輯 ヘーゲル研		113	1931	p45～69
高橋里美	ヘーゲル主義と新カント主義	『国際ヘーゲル連盟日本版(百周年忌記念)ヘーゲルとヘーゲル主義』(岩波書			1931	p353～400
高橋里美	ヘーゲルの弁証法の論理的構造に関する考察並に批判	理想(特輯 ヘーゲル復興)		22	1931	p15～48
高橋里美	ヘーゲルの弁証法の論理的構造に関する考察並に批判(承前)	理想		26	1931	p61～88
高山岩男	ヘーゲルの精神現象学	理想(特輯 ヘーゲル復		22	1931	p164～182
高山岩男	ヘーゲルの精神現象学(承前)	理想		26	1931	p89～109
竹下直之	ヘーゲルの客観的精神—特に「人倫」に就て	理想(特輯 ヘーゲル復興)		22	1931	p199～216
田辺元	ヘーゲルの絶対観念論	哲学研究	16	12	1931	p1～84
田辺元	ヘーゲル哲学と絶対弁証法	思想(特輯 ヘーゲル研		113	1931	p89～105
田辺元	ヘーゲル判断論の理解	哲学雑誌 (ヘーゲル百		538	1931	p48～69
田辺元	ヘーゲルに於ける理性的と現実的との一致	『国際ヘーゲル連盟日本版(百周年忌記念)ヘーゲルとヘーゲル主義』(岩波書			1931	p23～53

土田杏村	ヘーゲル弁証法と唯物弁証法	理想(特輯 ヘーゲル復興 第2冊)	26		1931	p3~23
戸坂潤	ヘーゲルと自然哲学	理想(特輯 ヘーゲル復興 第2冊)	26		1931	p24~42
西田幾太郎	私の立場から見たヘーゲルの弁証法	『国際ヘーゲル連盟日本版(百周年記念)ヘーゲルとヘーゲル主義』(岩波書店)			1931	p1~21
波多野通敏	ヘーゲルの解釈せるヘラクレイトス	ヘーゲル及弁証法研究	34		1931	p1~22
土方定一	ヘーゲルの美学	ヘーゲル及弁証法研究	34		1931	p23~37
日高一二三	弁証法に於ける内在と超越	思想(特輯 ヘーゲル研	113		1931	p89~105
日高一二三	ヘーゲルに於ける具体的普遍	哲学雑誌	531		1931	p436~467
日高一二三	ヘーゲルに於ける具体的普遍	哲学雑誌	532		1931	p510~530
船山信一	本質としての精神と弁証法	思想(特輯 ヘーゲル研	113		1931	p70~88
船山信一	ヘーゲルの論理学における存在、本質、概念の連関を中心として	哲学研究	16	6	1931	p23~63
船山信一	ヘーゲルの論理学における存在、本質、概念の連関を中心として	哲学研究	16	8	1931	p75~107
船山信一	ヘーゲルの論理学における存在、本質、概念の連関を中心として	哲学研究	16	9	1931	p30~56
本荘可宗	ヘーゲルと唯物弁証法—ヘーゲルとマルクスの関連において	理想(特輯 ヘーゲル復興)	22		1931	p74~92

本多謙三	フョイエルバッハのヘーゲル批判	思想(特輯 ヘーゲル研究)		113	1931	p122～ 138
松原寛	ヘーゲル哲学に於ける宗教の地位	『宗教学紀要』 (同文館)		8	1931	p139～ 144
松原寛	ヘーゲルの宗教哲学	理想(特輯 ヘーゲル復)		22	1931	p245～ 256
三木清	弁証法の存在論的解明	『国際ヘーゲル連盟日本版 (百周年記念) ヘーゲルと ヘーゲル主義』(岩波書 店)			1931	p163～ 201
三木清	ヘーゲル復興とその方向	中央公論		518	1931	p33～47
湯浅誠之助	カント、ヘーゲル、ハイデガー—ヘーゲルに於ける現象の意味	理想(特輯 ヘーゲル復興)		22	1931	p102～ 111
脇坂光次	ヘーゲルに於けるアイデアと弁証法	哲学研究	16	12	1931	p185～ 215
脇坂光次	ヘーゲルに於けるアイデアと弁証法	哲学研究	17	4	1931	p99～124
脇坂光次	ヘーゲルに於けるアイデアと弁証法	哲学研究	18	5	1931	p94～116
青木巖	アリストテレスの問題法とヘーゲルの弁証法	哲学(三田哲学会)		9	1932	p133～ 170
大西友太	ヘーゲルの人間	哲学雑誌		545	1932	p1～14
長田新	ヘーゲルの哲学と現代の教育学	理想		31	1932	p87～107
金子武蔵	SubstanzからSubjektへ	哲学雑誌		542	1932	p313～ 346
久保虎賀寿	ヘーゲルに於ける絶対精神の方向決定	思想		122	1932	p58～78
小山鞆絵	自覚と弁証法(2)	思想		116	1932	p48～81
務台理作	精神現象学と存在論	理想		29	1932	p1～58

脇坂光次	ヘーゲルに於けるアイデアと弁証法	哲学研究	17	4	1932	p99~124
磯部忠正	ヘーゲルの「精神」に就いて	哲学雑誌		559	1933	p781~815
小山鞆絵	新ヘーゲル主義	岩波講座哲学(岩波書店)			1933	104p
務台理作	ヘーゲル精神現象学と論理学との関係に就いて	哲学論叢(東京文理科大学)		1	1933	p1~88
山口等樹	ヘーゲル哲学に於ける結合の概念	哲学(三田哲学会)		10	1933	p75~102
吉田劔	ヘーゲルの数学観	唯物論研究		12	1933	p131~140
吉村善夫	弁証法の研究	哲学雑誌		557・559	1933	p619~64
脇坂光次	ヘーゲルに於けるアイデアと弁証法(承前)	哲学研究	18	5	1933	p94~116
甘粕石介	ヘーゲルと浪漫主義	思想		145	1934	p82~101
小松摂郎	ヘーゲルの啓示宗教	宗教研究	11	1	1934	p27~39
島津勤	普遍に就いて—カントとヘーゲルを中心に	哲学研究	19	7	1934	p57~99
鈴木竜司	ヘーゲルの希臘喜劇論	文化(東北大学)	1	1	1934	p85~100
本多修郎	ヘーゲルの因果論研究	文化	1	11	1934	p105~137
大塚 三七雄	ヘーゲルの『フィヒテとシェリングの哲学体系の差異』について—ヘーゲル哲学の成立—	哲学論叢(東京文理科大学哲学会)		2	1935	p1429~1449
大村晴雄	ヘーゲル論理学に於ける端初の問題	哲学雑誌		581・582	1935	p666~677
本多修郎	ヘーゲルの微分学論	哲学雑誌		578	1935	p332~353
山口諭助	ヘーゲルと無	哲学雑誌		578	1935	p281~
山口諭助	ヘーゲルと無	哲学雑誌		579	1935	p392~
山口諭助	ヘーゲルと無	哲学雑誌		583	1935	p767~

山崎秀爾	歴史における自由と必然 ーヘーゲルを中心として	哲学研究	20	3	1935	p79~109
岩崎武雄	ヘーゲルに於ける精神と 時間	哲学雑誌	592	592・594	1936	p718~ 761
武市健人	ヘーゲルの弁証法	文化	3	7	1936	p1362~ 1400
陳紹馨	ヘーゲルに於る市民社会 論の成立(上)	文化	3	4	1936	p15~41
陳紹馨	ヘーゲルに於る市民社会 論の成立(下)	文化	3	6	1936	p21~55
武市健人	ヘーゲルの弁証法	文化	4	1	1937	p11~43
武市健人	ヘーゲルの弁証法	文化	4	2	1937	p117~ 144
武市健人	ヘーゲルの弁証法	文化	4	4	1937	p394~ 429
本多修郎	ヘーゲルの数学論	哲学雑誌		603	1937	p472~ 495
本多修郎	ヘーゲル数学論における 分析と総合	文化	4	3	1937	p60~88
武市健人	弁証法論理の研究ー同 一、区別、矛盾、根拠	哲学雑誌		618	1938	p686~ 717
武市健人	弁証法論理の研究ー同 一、区別、矛盾、根拠	哲学雑誌		619	1938	p816~ 837
武市健人	弁証法論理の研究ー同 一、区別、矛盾、根拠	哲学雑誌		620	1938	p903~ 921
中川秀恭	ヘーゲルの弁証法	文化	5	6	1938	p686~ 712
中川秀恭	ヘーゲルの弁証法	文化	5	7	1938	p819~ 846
平下欣一	概念と自由ーヘーゲル哲 学の内在的解明	哲学研究	23	8	1938	p1~30
松村一人	ヘーゲルの「向自性」に 関する一解釈	思想		194	1938	p40~53

鈴木権三郎	哲学的方法としての弁証法	理想		103	1939	p24～33
深作守文	ヘーゲルの「法」に就いて	哲学雑誌		633	1939	p829～844
四宮兼之	愛、運命、ロゴスーヘーゲルの「フランクフルト断片」	哲学年報(九州大学)		1	1940	p33～72
鈴木権三郎	ヘーゲル主義の哲学『世界精神史講座5』	理想社			1940	p197～228
深作守文	ヘーゲルの「法」に就いて	哲学雑誌		637	1940	p138～144
安浩相	ヘーゲル論理学に於ける客観的判断の問題	哲学研究	25	8	1941	p1～83
高橋亘	ヘーゲルの宗教哲学	哲学研究	25	5	1941	p55～94
高橋亘	ヘーゲルの宗教哲学	哲学研究	25	7	1941	p76～94
高橋亘	ヘーゲルの宗教哲学	哲学研究	25	8	1941	p59～83
武市健人	ヘーゲル論理学の世界ー「本質論」を中心として	文化	9	5	1942	p409～461
寺沢恒信	「イエナの論理学」の区分について	哲学雑誌		663	1942	p353～391
前田博	ヘーゲルと国家的教育の理念	哲学研究	27	2	1942	p63～81
前田博	ヘーゲルと国家的教育の理念	哲学研究	27	3	1942	p55～87
矢内原伊作	物性の論理ーヘーゲルの精神現象に於ける絶対知の成立について	哲学研究	27	4	1942	p67～82
上田泰治	ヘーゲル哲学の根本問題についての省察ー現実の論理・第2部	哲学研究	28	12	1943	p36～52

上田泰治	ヘーゲル哲学の根本問題についての省察－現実の論理・第2部	哲学研究	29	3	1944	p31～34
上田泰治	ヘーゲル哲学の根本問題についての省察－現実の論理・第2部	哲学研究	29	4	1944	p39～56
習田達夫	ヘーゲル哲学に於ける民族精神	哲学年報		5	1946	p65～118
習田達夫	ヘーゲル法哲学の解釈－客観精神に於ける主体性の弁証法的展開	哲学年報		5	1946	p65～118
鬼頭英一	弁証法の歴史的発展	哲学評論(民友社)	2	2	1947	p14～21
武市健人	ヘーゲルとマルクスの弁証法	哲学評論(民友社)	2	2	1947	p22～32
松村一人	ヘーゲル論理学の研究－絶対的理念に関する批判的考察	理論		1	1947	p40～64
岩永光幸	ヘーゲルの国家観について	日本法学	14	9・10・11・12	1948	p98～102
小場瀬卓三	デイドロの弁証法的批判－現代に生きる『ラモーの甥』	総合文化	2	9	1948	p12～20
樺俊雄	ヘーゲルと市民社会	哲学評論	3	5	1948	p16～26
斎藤信治	ヘーゲルのソクラテス解釈	哲学(思索社)	2	2	1948	p19～39
田中吉六	自然弁証法の論理的主導説批判	総合文化	2	9	1948	p12～21
船山信一	ヘーゲルとマルクスの歴史観－ヘーゲル歴史哲学の地位	哲学評論	3	4	1948	p17～23
樫山欽四郎	弁証法と弁証法神学	人文科学研究(早稲田大学)		6	1949	p73～110

金子武蔵	ヘーゲルの弁証法	淡野・松村・高桑編『弁証法ノオト』			1949	p73～109
小菅正紀	ヘーゲルの弁証法	哲学評論	4	2	1949	p28～35
武市健人	量から質への転化への論理	哲学評論	4	4	1949	p26～36
武市健人	ヘーゲル論理学の本質－弁証法の基本構造	哲学雑誌		704	1949	p67～96
植田寿蔵	ヘーゲルの芸術史論	哲学研究	34	3	1950	p1～25
遠藤英夫	市民社会－スミスとヘーゲル	三田政治学会誌		33	1950	p52～65
太田正元	具体的普遍について－ヘーゲル論理の一考察	仏教大学学報		26	1950	p114～121
小笠原秀実	ヘーゲル弁証法論過図式	仏教大学学報		26	1950	p105～113
習田達夫	ヘーゲル哲学に於ける民族精神	哲学年報		8	1950	p159～174
平井俊彦	ヘーゲル市民社会思想の基本的構造	経済論叢	66	4	1950	p52～69
細迫朝夫	市民の教養－ヘーゲルにおける「悟性」と「教養」	愛知大学文学論叢		3	1950	p103～121
矢崎光圀	市民社会と自由の問題－ヘーゲルからシュタインまで	法律時報	22	1・5	1950	p35～42
山本清幸	ヘーゲルの体系と精神の論理－「思弁哲学に於ける精神の形而上学」への序説	哲学年報		10	1950	p73～106
河内久雄	ヘーゲル論理学に於ける同一性区別の範疇について	文化	15	2	1951	p143～163
岸畑豊	ヘーゲルに於ける人倫の成立の一過程	哲学研究	35	1	1951	p46～62

岸畑豊	ヘーゲルに於ける人倫の成立の一過程	哲学研究	35	3	1951	p24～34
栗原兵吾	ヘーゲルの見たハーマン	独仏文学研究 (九州大学)		1	1951	p67～78
鈴木光録	ヘーゲルの法哲学について	社会科学研究 (新潟大学)		1	1951	p35～48
田辺振太郎	「ヘーゲル論理学」批判試論－概念論の「主観性」篇について	思想		323	1951	p21～36
宮本富士雄	ヘーゲルに於ける世界史	理想		217	1951	p47～55
山本清幸	ヘーゲルの体系と精神の論理－「思弁哲学に於ける精神の形而上学」への序説	哲学年報		11	1951	p139～166
岡林克己	客観的精神の内包するもの－ヘーゲルの法哲学の基礎的課題	島根大学論集 (人文科学)		2	1952	p62～71
酒井三郎	18・9世紀の外交における平和論－ヘーゲルにおけるカント平和論の批判を中心として	熊本史学		3	1952	p9～15
島崎譲	ラッサールとヘーゲル	法政研究(九州大学)	20	1	1952	p103～142
高柳茂	ヘーゲルの論理学について	愛知学芸大学 研究報告(人文科学)		1	1952	p30～54
高柳茂	ヘーゲルの論理学について(その二)－質量における範疇移行の一考察	愛知学芸大学 研究報告(人文科学)		2	1952	p13～20
滝沢克己	ヘーゲル「キリスト教の精神とその運命」について	哲学年報		12	1952	p167～173
田中吉六	ヘーゲル弁証法と市民社会の問題	思想		339	1952	p66～81

沼田滋夫	ヘーゲル『精神現象論』に於ける精神の形成の一つの理解	横浜国立大学 人文紀要(第1類)		1	1952	p1~9
平下欣一	ヘーゲルにおける現実的なものと理性的なもの	哲学研究	35	10	1952	p16~40
藤田健治	シェリングとヘーゲル—本質と存在を繞って	お茶の水女子大学人文科学紀要		1	1952	p1~29
古市恵太郎	ヘーゲル的自覚とケルケゴオル的自覚	徳島大学学芸学部紀要(人文科学)		1	1952	p1~22
本多修郎	ヘーゲルの天体論	哲学(日本哲学会)		2	1952	p27~65
三島泰治	ヘーゲル『小論理学』の邦訳	立命館法学		2	1952	p77~86
伊藤康三	ヘーゲル哲学	哲学会誌(中央大学)		4	1953	p79~89
江川義忠	ヘーゲルにおける宥和の概念	哲学論叢		2	1953	p16~32
大羽哲郎	ヘーゲル法律哲学における「国家と世界史との関係」の考察	愛知学芸大学哲学会誌		1	1953	p30~35
奥津敬一郎	ヘーゲルの市民社会	哲学論叢		15	1953	p79~90
栗原兵吾	ヘーゲルの見たハーマン	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		3	1953	p1~12
小松撰郎	ヘーゲルと弁証法—自己疎外について	思想		354	1953	p13~23
斎藤信治	ロマンティシュ・イロニー—ヘーゲルのイロニー論	文化	17	2	1953	p157~158
斎藤信治	ロマンティシュ・イロニー—ヘーゲルのイロニー論	文化	17	5	1953	p510~536
芝田進午	ヘーゲルにおける「労働」の問題	思想		350	1953	p947~963

高根仁	ヘーゲルの論理学に於ける展開の根底にあるもの	鹿児島大学文科報告		2	1953	p176～204
藤田健治	キェルケゴールのヘーゲル批判	一橋論叢	30	2	1953	p58～80
本多修郎	ヘーゲルの数学論とマルクス・エンゲルス	思想		345	1953	p67～80
牧野文雄	ヘーゲルの論理学	愛知学芸大学哲学会誌		1	1953	p71～75
山本晴義	ヘーゲル哲学における思弁性と現実性との連関について	大阪経大論集		7	1953	p61～76
奥津敬一郎	ヘーゲル哲学の成立と構造	哲学論叢		16	1954	p115～127
河内久雄	ヘーゲルに於ける市民社会の問題	宮城県農短期大学学術報告		1	1954	p128～140
川野洋	カント、ヘーゲルをめぐる直観論の一考察	美学		15	1954	p38～46
小林通	ヘーゲル論理学研究	学術論叢(中央大学)		4	1954	p168～189
酒井修	始元－ヘーゲル『論理学』に於ける「否定」の研究	哲学研究	36	4	1954	p16～34
芝田進午	ヘーゲルにおける法律学の問題－市民社会における法の構造	社会労働研究(法政大学)		2	1954	p51～65
高柳茂	ヘーゲル論理学への道	哲学(三田哲学会)		3/4	1954	p11～21
鶴田孝	ヘーゲル『法哲学』に於ける市民社会論について	哲学研究	36	12	1954	p44～45
沼田滋夫	ヘーゲル『精神現象論』における行為について	横浜国立大学人文紀要(第1類)		3	1954	p1～11

本田玄伯	ヘーゲル初期における「生命」の概念－ヘーゲル初期における弁証法の成立	哲学年報		15	1954	p217～224
山本晴義	ヘーゲルにおける現実性と実存哲学における現実性	大阪経大論集		10	1954	p117～136
秋山博愛	ヘーゲルとその時代	関西大学文学論集特集号			1955	p89～110
安斎由夫	論理学における「ヘーゲルの弁証法」	哲学雑誌		727	1955	p32～50
梯明秀	労働市場における法的人格	立命館法学		11	1955	p33～80
梯明秀	労働市場における法的人格	立命館法学		12	1955	p87～175
梯明秀	労働市場における法的人格	立命館法学		13	1955	p88～166
亀谷辰男	ヘーゲル思想の端緒形態	哲学論叢		17	1955	p88～160
川原栄峰	ヘーゲルにおける存在と無と成の論理	早稲田法学会誌		5	1955	p1～31
酒井修	始元－ヘーゲル『論理学』に於ける「否定」の研究	哲学研究	37	7	1955	p25～51
高峯一愚	ヘーゲルの社会思想	社会思想研究	7	9	1955	p14～19
栃原敏房	ヘーゲルの体系前期における反省の概念について	法文論叢(熊本大学)		7	1955	p1～18
難波田春夫	スミス・ヘーゲル・マルクス	経済学の進歩のために(東京都立商科短期大学)	1	1	1955	p7～22
広川正治	ヘーゲル哲学の教育学的研究	北海道学芸大学紀要(第1部)	6	1	1955	p87～96
古市恵太郎	「理性の狡智」について	哲学(広島大学)		5	1955	p17～28
宮本富士雄	ヘーゲル論理学の弁証法	東京教育大学文学部紀要		1	1955	p1～25

渡辺安夫	ヘーゲル哲学に於ける区別と同一	哲学論叢		17	1955	p25～39
市井三郎	ヘーゲルの「矛盾」の分析	哲学と教育 (愛知学芸大 哲学会)		27	1956	p19～27
岩崎允胤	ヘーゲルに於ける「矛盾」の位置について	唯物論		5	1956	p43～59
大野精三郎	ヘーゲルにおける古典派経済学の把握	経済研究(一 橋大学)	7	4	1956	p290～ 299
加藤泰義	ヘーゲル哲学の倫理の基礎にあるもの	学習院大学文学部研究年報		3	1956	p1～23
川久保勘三郎	ヘーゲル論理学に於ける実存概念に就いて	鹿児島大学教育学部研究紀要		8	1956	p100～ 106
島田等	ヘーゲルにおける理性に関する一考察	倫理学年報		5	1956	p93～105
武市健人	ヘーゲル哲学と体系と性格	哲学研究	38	5	1956	p1～24
土井道子	主体の形而上学としての弁証法	哲学論叢		18	1956	p41～58
中埜肇	ヘーゲルにおける自然法 の概念	理想		279	1956	p58～79
難波田春夫	ヘーゲルとマルクス	経済学の進歩 のために	2	3	1956	p53～58
橋本峰雄	ヘーゲルの二元性	哲学研究	38	10	1956	p41～74
橋本峰雄	ヘーゲルの二元性	哲学研究	38	11	1956	p51～70
治田成夫	神の証明をめぐるカントとヘーゲルの対立	哲学論叢		18	1956	p73～89
広川正治	ヘーゲル哲学の教育学的研究	北海道学芸大 大学紀要(第1 部)	7	1	1956	p15～25
船山信一	ヘーゲルの『哲学史』における弁証法の理解	立命館文学		140	1956	p1～4
本田玄伯	ヘーゲル哲学における生命の運動と精神	社会科学論集 (高知短大)		3	1956	p12～94

松尾要	ヘーゲルの美学と宗教精神	函館商大論叢		4	1956	p42～51
持田善丸	ヘーゲルにおける法の見方について	哲学会誌(中央大学)		7	1956	p84～98
谷嶋喬四郎	萌芽期のヘーゲル弁証法	東京大学教養学部社会科学紀要		5	1956	p139～162
山中隆次	初期ヘーゲルの市民社会観	一橋論叢	35	2	1956	p84～91
渡辺安夫	ヘーゲル論理学の区別における媒介と真の媒介	東京教育大学文学部紀要		5	1956	p49～62
大野精三郎	ヘーゲルと古典派経済学	経済研究(一橋大学)	8	3	1957	p255～268
川久保勘三郎	ヘーゲル論理学に於ける根拠と実存概念に就いて	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文社会科学篇)		9	1957	p89～100
川久保勘三郎	ヘーゲル論理学に於ける根拠と実存概念に就いて	哲学論叢		19	1957	p1～12
川久保勘三郎	ヘーゲル哲学における始原の弁証法に就いて	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文社会科学篇)		9	1957	p77～88
栃原敏房	意識と論理－ヘーゲルの弁証法の一考察	日本大学世田ヶ谷教養部紀要		6	1957	p1～10
中尾隆司	ヘーゲルとキルケゴール	神戸山手女子短期大学紀要		2	1957	p31～38
橋本峰雄	ヘーゲルの無限判断	哲学(日本哲学会)		7	1957	p39～46
藤野涉	ヘーゲル哲学に対するマルクス主義の関係－東ドイツにおける討論について	名古屋大学文学部研究論集		18	1957	p15～64
船山信一	ヘーゲルの『哲学史』における弁証法の理解	立命館文学		143	1957	p21～41
船山信一	ヘーゲルの『哲学史』における弁証法の理解	立命館文学		144	1957	p24～43

船山信一	ヘーゲルにおける「哲学の推論」-『エンチクロペデー』における「哲学」に関する一試論	立命館文学		150/151	1957	p12~24
堀場正治	ヘーゲルの世界危機観と理性の和解性	名古屋女子短期大学紀要		3	1957	p11~31
本多修郎	ヘーゲルの偶然論	哲学(日本哲学会)		7	1957	p32~38
前田達郎	ヘーゲル弁証法の本質について	教育科学(新潟大学)	6	2	1957	p1~7
山下太郎	ヘーゲルにおける政治的イデオロギーの概念について-法哲学におけるParteilichkeitの問題	静岡大学文理学部研究報告(人文科学)		8	1957	p1~18
山田政治	ドイツ理想主義の政治的性格(3)	島根大学論集(社会科学)		3	1957	p14~26
渡辺安夫	ヘーゲル哲学と精神	哲学論叢		19	1957	p37~49
岩崎卯一	ヘーゲル主権論とその批判	関西大学法学論集	8	1	1958	p1~21
大野精三郎	Hegel=Marxの労働把握との射程	経済研究(一橋大学)	9	3	1958	p267~270
大村晴雄	ヘーゲルの論理学について	東京大学教養学部人文科学科紀要		15	1958	p73~104
木村慎造	ヘーゲル刑罰理論の本質(1)	フィロソフィア(早稲田大学)		34	1958	p181~204
上妻精	晩年のヘーゲルの政治思想-英国選挙法改正案批判を繞りて	倫理学年報		7	1958	p185~200
斎藤信治	ハイデッカーのヘーゲル解釈	中央大学文学部紀要		11	1958	p1~24

佐々木晃	資本論の方法論的研究 序説－ヘーゲル哲学体 系によるマルクス経済学 の解明	経済集志(日 本大学)	28	1	1958	p73～114
佐々木晃	資本論の方法論的研究 序説－ヘーゲル哲学体 系によるマルクス経済学 の解明	経済集志(日 本大学)	28	4	1958	p72～88
島田豊	ヘーゲル論理学と形式論 理学－Reflexions Bestimmung の一考察	日本福祉大学 研究紀要		2	1958	p69～74
鱸正太郎	ヘーゲルの法哲学	静岡大学文理 学部研究報告 (社会科学)		7	1958	p33～48
高峯一愚	ゲーテとヘーゲル	哲学誌(東京 都立大学)		1	1958	p1～24
時永淑	マルクスのヘーゲル批判 －『経済学・哲手稿』にか んする一考察	経済志林(法 政大学)	26	2	1958	p67～99
所実登里	ヘーゲルにおける自由の 概念とマルクス主義から の批判－「自由論」ノート	立正大学文学 部論叢		10	1958	p208～ 267
中埜肇	ヘーゲルに於ける行為の 構造－特に悲劇に関連し て	哲学研究	39	8	1958	p37～71
沼田滋夫	F.Hegel における「人倫」 思想の出発	横浜国立大学 人文紀要(第 1類)		6	1958	p25～42
治田成夫	ヘーゲルとマルクス－そ の人間的把握と思考法の 異質性をめぐって	哲学論叢		20	1958	p61～73

船山信一	ヘーゲルの人間学の性格—体系におけるその地位	哲学研究	39	10	1958	p33～51
船山信一	ヘーゲルの人間学の性格—体系におけるその地位	哲学研究	39	9	1958	p49～68
本多修郎	ヘーゲルにおける自然と自然科学	文科紀要(東北大学教養部)		1	1958	p47～56
前田達郎	ヘーゲルの自然と精神	教育科学(新潟大学教育学部紀要)	7	3	1958	p16～24
三浦広吉	芸術の観照について—ヘーゲル哲学に於いて	北九州大学外国語学部紀要(2)		1	1958	p17～28
宮本富士雄	移行の弁証法—ヘーゲル論理学の弁証法(2)	東京教育大学文学部紀要		18	1958	p1～25
谷嶋喬四郎	イデオロギーとしての弁証法	東京大学教養学部社会科学部紀要		7	1958	p211～263
山下太郎	ヘーゲルの階級観—法哲学の市民社会論に現れたStandの意義について	哲学(日本哲学会)		8	1958	p29～38
山高竜昌	党派と人倫—ヘーゲルの法哲学をめぐって	福岡学芸大学紀要(第2部)		8	1958	p1～13
山中隆次	初期ヘーゲルにおける社会、国家および歴史の問題—ベルン時代1793～96年	経済理論(和歌山大学)		42	1958	p69～101
湯浅泰雄	人間と真理—精神現象学に即して	哲学雑誌		737	1958	p33～47
吉野寛治	イエナからバムベルグへ—ヘーゲル覚書	倫理学年報		7	1958	p71～82

良知力	フョイエルバッハのヘーゲル批判によせて	経済志林	26	3	1958	p106～143
渡辺安夫	ヘーゲルの市民社会について—『法哲学』を中心として	哲学論叢		20	1958	p49～60
石黒光次	ヘーゲルの無限性の意識	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		10	1959	p1～13
市野沢寅雄	ヘーゲルのMasの訳語について	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		9	1959	p1～5
大島康正	ヘーゲル弁証法の成立まで(1)—神学的初期論文以前	東京教育大学文学部紀要		20	1959	p1～16
大村晴雄	ヘーゲルの「概念」について	哲学誌		2	1959	p1～22
佐々木晃	資本論の方法論的研究序説—ヘーゲル哲学体系によるマルクス経済学の解明	経済集志(日本大学)	29	1	1959	p118～136
佐々木晃	資本論の方法論的研究序説—ヘーゲル哲学体系によるマルクス経済学の解明	経済集志(日本大学)	29	2・3・4・5・6合併号	1959	p496～523
高峯一愚	弁証論と弁証法	理想		316	1959	p68～82
高柳茂	『精神現象学』の研究(1)	愛知学芸大学研究報告(人文科学)		8	1959	p13～20
栃原敏房	ヘーゲルの弁証法の根拠	日本大学人文科学研究所研究紀要		10	1959	p3～15
西川竹彦	ヘーゲルの「定有」について	信州大学繊維学部研究報告		9	1959	p216～224
広川正治	ヘーゲル哲学の教育学的研究	北海道学芸大学紀要(第1部)	10	1	1959	p202～215

船山信一	ヘーゲルにおける現象学・論理学、 Realphilosophie の性格及び 連関	立命館文学		169	1959	p1～34
船山信一	ヘーゲルにおける現象学・論理学、 Realphilosophie の性格及び 連関	立命館文学		172	1959	p13～34
松井正樹	形式論理と弁証法	現代哲学(現代哲学研究)		3	1959	p13～20
山高竜昌	経済と帰結—ふたたび ヘーゲルをめぐって	福岡学芸大学紀要(第2部)		9	1959	p11～19
山中隆次	少壮ヘーゲル学派の ヘーゲル批判—その一 典型としてのA.ルーゲ (1802～80)	経済理論		51・52	1959	p57～92
山本新之助	実践の弁証法	人文研究(大阪市立大学)	10	6	1959	p60～68
湯浅泰雄	ヘーゲルにおける倫理の問題	理想		310	1959	p66～80
遊部久蔵	『精神現象学』の疎外論	三田学会雑誌	52	12	1959	p1013～1036
吉野寛治	啓蒙専制の新聞政策と ヘーゲル	社会科学論集(埼玉大学)		3	1959	p69～79
吉野寛治	啓蒙専制の新聞政策と ヘーゲル	社会科学論集(埼玉大学)		4	1959	p82～93
石黒光次	ヘーゲルの無限性の意識	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		11	1960	p1～21
大月直治	ヘーゲルに於ける反省的 諸規定	関西学院哲学研究年報		1	1960	p53～67
大村晴雄	「概念」の規定作用について	東京大学教養学部人文学科紀要		20	1960	p41～69
岡本六郎	ヘーゲル論理における理性と悟性(1)	姫路短期大学研究紀要		6	1960	p1～12

城戸寛	ヘーゲルの宗教論と彼岸の問題	哲学年報		22	1960	p411～434
佐々木晃	資本論首章の方法論的研究－ヘーゲル精神現象学並びに論理学による第1、2節の解明(1)	経済集志(日本大学)	30	2	1960	p62～104
沢田章	ヘーゲルにおける「空間と時間」の概念	倫理学年報		8	1960	p16～33
高峯一愚	弁証法の構造について	哲学雑誌		743	1960	p51～66
高柳茂	ヘーゲル弁証法と分析哲学	植田清次編『現代哲学の基礎』(早稲田大学出版部)			1960	p216～241
豊福淳一	ヘーゲルと浪漫派の親近性－フランクフルト時代をめぐって	哲学誌		3	1960	p73～83
平野秩夫	ヘーゲル－法哲学史のための一考察	法政論集(名古屋大学)		15	1960	p1～21
細谷貞雄	理想と信仰と哲学－青年ヘーゲルのキリスト像をめぐって	文化	24	3	1960	p339～368
本多修郎	ヘーゲル弁証法と化学	文科紀要(東北大学)		6	1960	p1～12
三浦つとむ	ヘーゲルの法理論とマルクス主義－実践における意志の対象化の問題	思想		438	1960	p121～134
米倉守	精神現象学の成立史－ヘーゲル精神現象学の研究	哲学研究	41	1	1960	p47～74
米倉守	精神現象学の成立史－ヘーゲル精神現象学の研究	哲学研究	41	2	1960	p46～66

渡辺祐邦	青年期ヘーゲルにおける イエス解釈とその問題	哲学(日本哲 学会)		10	1960	p94~102
石黒光次	ヘーゲルの無限性の意 識	茨城大学文理 学部紀要(人 文学部)		12	1961	p11~35
岩波哲男	ヘーゲル的思惟の特質 —大論理学を手がかりと して	淑徳短期大学 学報		1	1961	p225~ 229
大月直治	ヘーゲル弁証法の一考 察	関西学院哲学 研究年報		2	1961	p63~82
尾田幸雄	ヘーゲル初期におけるロ ゴス解釈の変遷	倫理学年報		10	1961	p44~56
木村靖比 古	ヘーゲルの法哲学につい ての一考察	岩手大学学芸 学部研究年報		18	1961	p35~46
上妻靖	愛の倫理—若きヘーゲル に即して	実存主義		23	1961	p48~61
沢田章	「空間と時間」の弁証法 —ヘーゲルにおけるその 展開	倫理学年報		10	1961	p30~43
白石浩一	カントとヘーゲル	学苑(昭和女 子大学)		262	1961	p45~54
豊福淳一	ヘーゲルのロマン主義的 イロニー批判	理想		342	1961	p72~83
西川富雄	シェリングのヘーゲル批 判	立命館文学		190	1961	p40~62
細谷貞雄	理想と信仰と哲学—青年 ヘーゲルのキリスト像を めぐって	文化	25	2	1961	p244~ 278
向井守	フランクフルト時代におけ るヘーゲルの実存—特に 美しい魂に関連して	哲学研究	41	7	1961	p60~88
山崎照雄	『精神現象学』素描—そ の成立と思想の(現代 化)Vergegenwärtigungを めぐって	教養論叢(慶 応義塾大学)		7	1961	p23~51

鯉坂真	ヘーゲルの教育思想について	論叢玉川大学 文学部紀要	3	1962	p23～38
石黒光治	ヘーゲル論理学の始原の問題	茨城大学文理 学部紀要(人 文学部)	13	1962	p1～12
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(1)	東京大学教養 学部人文科学 科紀要	27	1962	p27～56
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(1)	東京大学教養 学部人文科学 科紀要	29	1962	p17～46
岡本六郎	ヘーゲル論理における理性と悟性(2)	姫路短期大学 研究紀要	7	1962	p1～12
小田川方子	ヘーゲルと中観派の比較哲学的考察	比較分化研究 (東京大学)	3	1962	p85～120
小野清一郎	ソヴエト刑法学者によるヘーゲル法哲学の再認識ーピオントコフスキーの近著を読んで	ジュリスト	244	1962	p10～22
木村慎造	ヘーゲル「始原論」の存在論的解釈	Philosophia	43	1962	p61～80
沢田章	弁証法的主体の時空論的構造ーヘーゲルの精神現象学を中心として	倫理学研究 (東京教育大 学)	10	1962	p48～83
信沢緑	「ヘーゲルの体系断片」について	哲学(三田哲 学会)	42	1962	p73～98
出口純夫	ヘーゲル精神現象学における「全体」について	理想	355	1962	p76～85
出口純夫	ヘーゲル精神現象学に於ける人間	Philosophia	44	1962	p53～68
橋本剛	ヘーゲル弁証の転倒性	唯物論(札幌 唯物論研究)		1962	p14～31
藤巻和夫	ヘーゲルとフォイエルバッハにおける人間把握の問題	倫理学年報	11	1962	p55～65

細見英	ヘーゲル市民社会論とマルクス	立命館経済学	11	1・2	1962	p181～214
観山雪陽	ヘーゲル歴史哲学の考察	華頂短期大学研究紀要		7	1962	p8～16
新開長英	ヘーゲルの倫理学と新ヘーゲル主義	商経論叢(九州商科大学)	2	2	1962	p11～139
和高伸二	ヘーゲルの芸術哲学についてー特に芸術史と芸術体系との関連について	和歌山大学学芸部紀要(教育科学)		11	1962	p73～89
石黒光治	ヘーゲル論理学の始原の問題	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		14	1963	p1～25
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(2)	東京大学教養学部人文科学科紀要		31	1963	p21～53
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(2)	東京大学教養学部人文科学科紀要		33	1963	p145～179
岡本六郎	ヘーゲル論理における理性と悟性(3)	姫路短期大学研究紀要		8	1963	p1～10
木村慎造	ヘーゲル「法」思想の研究	人文論集(早稲田大学)		1	1963	p55～120
作田啓一	自己疎外とパーソナリティ	思想		471	1963	p76～85
新開長英	ヘーゲルの倫理学と新ヘーゲル主義	商経論叢(九州商科大学)	3	3	1963	p75～110
竹原良文	ヘーゲル『法哲学』における「外面的国家」の本来の国への移行についての考察ー全体性の視点	法政研究(九州大学)	29	1・2・3	1963	p273～286
徳本正彦	「ヘーゲル国法論批判」の方法について	法政研究(九州大学)	29	1・2・3	1963	p335～349
豊福淳一	キルケゴールとヘーゲルー旧約のアブラハムをめぐって	理想		360	1963	p1～10

花崎皋平	ヘーゲル論理学における「理念」について	理想		359	1963	p68～77
花崎皋平	「現実性」の категорияについて—弁証法的論理学の問題として	哲学誌		5	1963	p54～78
廣松渉	マルクス主義と自己疎外論	理想		364	1963	p75～87
三浦和男	ヘーゲルとマルクス	思想		469	1963	p38～51
三浦和男	「人間疎外」の観点からなされるマルクス解釈への疑問	哲学(三田哲学会)		43	1963	p65～86
和高伸二	ヘーゲルの芸術終焉論	甲南大学文学会論集		20	1963	p32～45
伊藤結城夫	現象と現実性—ヘーゲル論理学の考察	函館短期大学論叢		12	1964	p1～19
上山春平	ヘーゲル論理学と『資本論』の関係について	人文学報(京都大学)		20	1964	p32～46
内田忠男	初期ヘーゲルの国民宗教論	経済科学	12	2	1964	p117～125
内田忠男	ヘーゲルとイギリス国家	経済科学(名古屋大学)	11	2	1964	p41～70
大月直治	ヘーゲル哲学の立場	関西学院哲学研究年報		5	1964	p55～70
大村晴雄	ヘーゲルの論理学	理想(特集ヘーゲル研)		377	1964	p12～20
大村晴雄	ヘーゲルにおける存在学と神学	哲学雑誌(ヘーゲル哲学の再検討)		751	1964	p1～16
小倉志祥	ヘーゲルにおける自己の倫理性	哲学雑誌(ヘーゲル哲学の再検討)		751	1964	p98～115
櫻山欽四郎	ヘーゲルの道徳論	理想(特集ヘーゲル研)		377	1964	p33～42
茅野良男	ヘーゲルの歴史観	理想(特集ヘーゲル研)		377	1964	p54～66
茅野良男	『精神現象学』以前	哲学雑誌(ヘーゲル哲学の再検討)		751	1964	p39～71

木場深定	ヘーゲルにおける宗教の体系的意義と宗教哲学の課題	理想(特集 ヘーゲル研究)	377	1964	p67~75
上妻精	ヘーゲル哲学の基盤－民族宗教とキリスト教に即して	理想(特集 ヘーゲル研究)	377	1964	p1~11
小林靖昌	初期ヘーゲルにおける「実定性」の問題	理想	376	1964	p76~83
斉藤信治	カントとヘーゲル－数学的二律背反をめぐって	中央大学文学部紀要	35	1964	p30~51
清水正徳	『資本論』におけるヘーゲル継承の問題－武市健人教授の学説によせて	神戸大学文学会研究	34	1964	p81~101
竹内敏雄	ヘーゲル美学の意義と限界	理想(特集 ヘーゲル研	377	1964	p76~86
立石竜彦	ヘーゲル・法の哲学	理想(特集 ヘーゲル研	377	1964	p43~53
寺沢恒信	分析的認識と総合的認識	哲学雑誌 (ヘーゲル哲学の再検討)	751	1964	p17~38
半田秀男	ヘーゲルとマルクス－弁証法の「顛倒」について	唯物論研究	18	1964	p15~29
半田秀男	ヘーゲルとマルクス－弁証法の「顛倒」について	唯物論研究	18	1964	p15~29
本多修郎	ヘーゲルの自然的世界	理想(特集 ヘーゲル研	377	1964	p21~32
増田良平	ヘーゲルの社会・歴史認識とドイツの後進性	哲学論叢	22	1964	p19~27
三浦和男	ヘーゲルとマルクス	思想	476	1964	p57~72
宮下春三	ヘーゲルの悟性とその周辺	山脇学園短期大学紀要	2	1964	p15~38

山内重幸	疎外論の構造－現代「疎外」論の批判をめぐって	香川大学学芸部研究報告(第2部)		18	1964	p1～32
山本信	思考と無限性－ヘーゲルにおける「理性」の立場	哲学雑誌(ヘーゲル哲学の再検討)		751	1964	p72～97
山本晴義	ヘーゲルの社会倫理－市民社会論をめぐって	大阪経大論集		45	1964	p169～191
渡辺祐邦	「惑星軌道論」とヘーゲルにおける古典力学の問題	哲学(北海道大学)		1	1964	p94～102
北村実	ヘーゲルにおける反照の概念	フィロソフィア		47	1964	p93～112
竹原良文	ヘーゲルの法・国家論における意識形態と論理－精神の自己疎外と国家の必然性の論証	法政研究	31	1	1964	p1～26
石黒光治	ヘーゲル論理学における同一性のカテゴリー	茨城大学文理学部紀要(人文科学)		16	1965	p1～20
石黒光治	ヘーゲル論理学における自己意識の原理	理想		382	1965	p71～84
伊藤結城夫	思想と範疇－ヘーゲル論理学の考察	函館大学論究		1	1965	p1～13
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(4)	東京大学教養学部人文科学科紀要		37	1965	p17～53
柿原篤弥	ヘーゲル	中央評論(中央大学)		90	1965	p83～90
柿原篤弥	ヘーゲル	中央評論(中央大学)		91	1965	p78～87
柿原篤弥	ヘーゲル	中央評論(中央大学)		92	1965	p57～63
木村靖比古	カントとヘーゲル	岩手大学学芸学部研究年報		24	1965	p1～17

許萬元	ヘーゲルにおける概念的把握の論理—その継承発展のために	哲学誌		7	1965	p79～96
小島武味	ヘーゲル哲学に於ける神の概念	熊本大学教育学部紀要		13(第2分冊)	1965	p27～32
古寺雅男・北村ひろ子・中川祐	ヘーゲル『精神現象学』の研究	成安女子短期大学紀要		6	1965	p27～49
佐々木晃	ヘーゲル哲学と自己疎外の経済学—ロバート・C・タッカーによるマルクスの基本理論に関する見解の検討	経済集志	34	5・6	1965	p25～37
清水英夫	若きヘーゲルの宗教論考	福井大学学芸学部紀要(人文科学)		14	1965	p85～104
鈴木亨	弁証法における無	理想		382	1965	p45～52
富沢賢治	弁証法における主体の問題—初期マルクスのヘーゲル批判	一橋論叢	53	6	1965	p97～104
中尾隆司	ヘーゲル社会哲学の発展—市民社会の論理	神戸山手女子短期大学紀要		8	1965	p491～501
中埜肇	「不幸な意識」について(1)—ひとつのHegel解釈	甲南女子大学研究紀要		1	1965	p305～319
沼田滋夫	ヘーゲルの「人論」における主体性の問題	横浜国立大学人文紀要(第1類)		11	1965	p19～31
橋本 剛	ヘーゲルの現象学的方法と「無限性」—「意識」—「自己意識」の移行の問題をめぐって	学園論集(北海学園大)		9	1965	p1～28

本多修郎	ヘーゲルと自然弁証法	三枝博音記念 論文集『ヘー ゲルと自然弁 証法－世界史 における日本 の文化』(第一 法規)			1965	p791～ 826
南良郎	ヘーゲルの市民社会論 －国家ゲマインシャフト批 判の前提	社会学年誌	7		1965	p1～12
宮下春三	ヘーゲルの自己意識	山脇学園短期 大学紀要	3		1965	p23～42
宮本十蔵	『精神現象学』における 〈疎外〉と〈外化〉	思想	498		1965	p41～50
武藤三千 夫	ヘーゲル美学の体系性 について	美学	63		1965	p17～20
山崎照雄	ヘーゲルにおける「市民 社会」の概念－その成立 の背景と「国家」に対する 問題的關係	哲学(三田哲 学会)	46		1965	p255～ 277
山本晴義	疎外論の歴史的考察－ ヘーゲル、フョイエルバッ ハ、マルクス	理想	387		1965	p28～38
若山三郎	弁証法について	論集(神戸大 学教養部人文 学会)	1		1965	p61～80
青山政雄	ヘーゲルの国家観に関 する考察	哲学(北大哲 学会)	2		1966	p41～68
石黒光治	ヘーゲル論理学における 同一性のカテゴリー	茨城大学文理 学部紀要(人 文学部)	17		1966	p1～22
稲葉稔	『精神現象学』に於ける 「意識」から「自意識」へ の転換点	宗教研究	39	4	1966	p97～119
稲葉四郎	ヘーゲルにおける経済と 人間	経済研究(大 阪府大)	42		1966	p1～19

内田忠男	政治への発言－初期 ヘーゲル研究	経済科学	13	1	1966	p92～123
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(5)	東京大学教養 学部人文科学 科紀要		41	1966	p7～44
小野健知	ヘーゲルの共同態につ いて	日本大学理工 学部一般教育 教室彙報		7	1966	p6～11
小原美高	ヘーゲルにおける「物」の 論理－精神現象学の考 察	岡山大学法文 学部学術紀要		23	1966	p25～33
桂寿一	ヘーゲル嫌い－哲学うら ばなし8	理想		394	1966	p71～75
金子武蔵	政論家としてのヘーゲル －序論	成蹊大学文学 部紀要		1	1966	p36～63
金子武蔵	ヴュルテンベルク民会	成蹊大学文学 部紀要		2	1966	p15～36
金子武蔵	随想(3)「トシュグの館」	実存主義		35	1966	p135～ 154
金子武蔵	随想(4) 伝統	実存主義		36	1966	p59～70
木村慎造	ヘーゲル「法」思想の研 究2	人文論集(早 大法学会)		3	1966	p87～112
熊田健二	ヘーゲルにおける歴史と 倫理の問題	秋田大学学芸 部研究紀要 (人文科学) (社会科学)		16	1966	p1～7
倉岡正雄	ヘーゲル弁証法の研究 における方法的意義	論叢玉川大学 文学部紀要		6(第1分 冊)	1966	p77～94
上妻精	ヘーゲルの人間学－『精 神現象学』研究序説 1	一橋論叢	56	4	1966	p78～87
古寺雅男・ 北村ひろ 子・中川祐	ヘーゲル『精神現象学』 の研究	成安女子短期 大学紀要		7	1966	p1～28
小林登	弁証法の法則について－ Cornforth論文をめぐるイ ギリスの討論	愛媛大学紀要 (人文科学)		12(B)	1966	p17～38

立花勝	スピノザ・ヘーゲル・シュライエルマッヘル	哲学論集(大谷大学)		13	1966	p1~11
徳永恂	現代批判とヘーゲル—アドルノ『ヘーゲル論三篇』をめぐって	思想		501	1966	p84~92
豊福淳一	ヘーゲルにおける人倫思想の展開	倫理学年報		15	1966	p64~72
中尾隆司	ヘーゲル社会哲学の発展—市民社会の論理	神戸山手女子短期大学紀要		9	1966	p631~644
中島盛夫	マルクーゼにおけるヘーゲルとマルクス	理想		394	1966	p31~40
プラウト J. v.	ヘーゲルの精神現象学及びそれ以前の諸書に於ける「生と死の戦い」の思想について	哲学研究	43	5	1966	p19~43
宮下春三	ヘーゲルの論理学	山脇学園短期大学紀要		4	1966	p41~57
森田侑男	ヘーゲル哲学の基礎	哲学論叢(東京教育大)		24	1966	p219~229
山下淳志郎	ヘーゲルに於ける精神・時間・歴史	酪農学園大学紀要	2	2	1966	p200~286
山中隆次	チェシュコフスキーのヘーゲル批判—マルクスへの道として	経済理論		88	1966	p21~42
渡部光雄	キルケゴールとヘーゲル左派	酪農学園大学紀要	2	2	1966	p181~199
渡部光男	キルケゴールとヘーゲル左派	キルケゴール研究		3	1966	p72~87
上山春平	弁証法の現代的課題	思想		516	1967	p1~10

大谷愛人	19世紀前半世紀デンマークにおける反ヘーゲル主義思想の系譜ーキルケゴール理解のための一つの前提	哲学(三田哲学会)		50	1967	p23~46
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(6)	東京大学教養学部人文科学科紀要		45	1967	p9~43
小野健知	ヘーゲル・歴史の一側面	哲学(北大哲学会)		3	1967	p109~123
小野健知	ヘーゲルの道徳性から人倫の移行について	日本大学工学部一般教育教室彙報		8	1967	p22~27
柿原篤弥	Referat über Hegels Logik	成蹊大学文学部紀要		3	1967	p1~5
笠井貞	ヘーゲルとアリストテレス	倫理学研究		13	1967	p1~13
加藤達也	ヘーゲルにおける倫理と社会	中京短期大学論叢		1	1967	p21~27
加藤隆生	ヘーゲルに於ける概念的思惟について	同朋学報		16	1967	p1~11
金子武蔵	金子武蔵訳『ヘーゲル政治論文集』(上)解説	岩波文庫			1967	p241~361
金子武蔵	上妻精訳『ヘーゲル政治論文集』(下)解説	岩波文庫			1967	p293~369
河内久雄	ヘーゲル論理学における対立の論理構造について	山形大学紀要(人文科学)	6	2	1967	p1~20
樺俊雄	社会学と疎外論	中央大学文学部紀要		47	1967	p1~18
上妻精	若きヘーゲルー歴史との対決	一橋論叢	57	4	1967	p1~22
上妻精	ヘーゲルの人間学ー『精神現象学』研究序説2	一橋論叢	57	1	1967	p85~91
古寺雅男・北村ひろ子	ヘーゲル『精神現象学』の研究	成安女子短期大学紀要		8	1967	p39~50

小林登	弁証法の法則の検証について—M.Cornforthの見解とその批判	愛媛大学紀要(人文科学)	13(B)	1967	p29~45	
渋谷勝久	若きヘーゲルの思索に於ける哲学と宗教の精神	哲学(三田哲学会)	50	1967	p47~71	
渋谷勝久	ヘーゲルの哲学的方法の体系的発展—若きヘーゲルの思索に於ける哲学と宗教の精神	哲学(三田哲学会)	51	1967	p21~65	
清水英夫	Hegelの宗教論における客観性の論理について	福井大学教育学部紀要(人文科学)(哲学編)	17	1967	p1~30	
清水正徳	ヘーゲルの「市民社会」論における「悟性的法則」と「矛盾」の問題	神戸大学文学会研究	40	1967	p1~17	
清水正徳	「労働」概念の再把握のために	唯物史観	5	1967	p152~162	
土居正稔	「いま」と「ここ」の弁証法—ヘーゲルの精神現象論の基本的理論構造とその吟味	檀原学院短期大学紀要	1	1967	p71~94	
中尾隆司	ヘーゲル社会哲学の発展—市民社会の論理	神戸山手女子短期大学紀要	10	1967	p833~849	
橋本剛	ヘーゲル的転倒の再転倒とマルクス主義の成立 1	学園論集(北海学園大)	11	1967	p1~23	
廣松渉	弁証法の唯物論的転倒はいかにして可能であったか	現代の理論	4	6	1967	p46~58

藤井一行	ペリンスキイとヘーゲル美学(1)	一橋論叢	58	2	1967	p57~62
プラウト J. v.	ヘーゲルの精神現象学及びそれ以前の諸書に於ける「生と死の戦い」の思想について	哲学研究	43	11	1967	p29~47
細見 英	マルクスとヘーゲル(立命館大共同研究室報告要旨 昭41.11)	立命館経済学	16	1	1967	p125~128
水野建雄	ヘーゲルの「実体」概念と弁証法	倫理学年報		16	1967	p31~40
水野建雄	ヘーゲル哲学と歴史的主体性の問題	亜細亜大学教養部紀要		2	1967	p87~100
宮下春三	ヘーゲル論理学の始元	山脇学園短期大学紀要		5	1967	p1~13
宮本十蔵	ヘーゲルの自然観についての一考察	信州大学人文科学論集		2	1967	p1~8
村上恭一	ヘーゲル哲学における実存的境位	理想		407	1967	p75~86
安田一郎	HegelのFr.Schlegel批判に関連して	外国文学研究(広島大)		13	1967	p33~48
山崎照雄	HegelにおけるMoralitatとSittlichkeitとの問題的關係・序章	哲学(三田哲学会)		50	1967	p151~170
米倉守	不幸な意識	日本大学理工学部一般教育教室彙法		8	1967	p1~8
良知力	初期マルクス発展史ノート(2)ーブルーノ・パウアーの批判「無神論者ヘーゲル」を中心に	経済志林	35	1	1967	p113~137
伊藤一美	『精神現象学』の方法	倫理学研究		16	1968	p31~45

大月直治	ヘーゲルの概念	人文論究(関西学院大)	18	4	1968	p48~58
大村晴雄	ヘーゲル『精神現象学』	理想		422	1968	p30~37
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(7)	東京大学教養学部人文科学科紀要		47	1968	p9~37
岡崎公良	G. W. F. ヘーゲルにおける国家の問題—ヘーゲル『法哲学』の研究	金城学院大学論集		35	1968	p87~121
尾崎和彦	ヘーゲル『精神現象学』における理性的自己意識の自己自身による実現の概念	岡山商大論叢	3	2	1968	p7~22
小原美高	ヘーゲル精神現象学における良心の考察	岡山大学法文学部学術紀要		27	1968	p15~27
加藤西郷	ヘーゲルにおける(神の死)意義	竜谷大学論集		385	1968	p124~143
熊谷正憲	『精神現象学』における自己疎外—自己外化との相違において	哲学(広島哲学会)		20	1968	p97~110
熊谷正憲	ヘーゲル弁証法における概念と叙述	木下学園女子短期大学研究集報		6	1968	p79~91
熊田真幸	ヘーゲル哲学における芸術的認識	美学		75	1968	p41
上妻精	人間と歴史—ヘーゲル『精神現象学』に即して	淡野安太郎・城塚登編『社会倫理の探究』(勁草書			1968	p101~138
上妻精	ヘーゲルとキリスト教倫理	日本倫理学会編『キリスト教』(理想社)			1968	p119~144
小林靖昌	自由と運命	淡野安太郎・城塚登編『社会倫理の探究』(勁草書			1968	p79~100

小山丁一	カントとヘーゲル—カントの道徳論に対するヘーゲルの批判について	中央大学文学部紀要		51	1968	p91~108
渋谷勝久	人間存在と弁証法論理—人間とは何か	理想		418	1968	p48~52
田中芳美	ヘーゲルの「ドイツ憲法論」	倫理学年報		17	1968	p57~65
出口純夫	存在の論理—ヘーゲル『論理学』における始まりの問題	人文論集(早大法学会)		5	1968	p31~54
豊福淳一	ヘーゲルにおける「労働」概念の展開とその弁証法	北海道教育大学紀要(第1部A人文科学編)	19	2	1968	p91~99
中易一郎	ヘーゲルにおける「矛盾概念」の構造	学習院大学文学部研究年報		14	1968	p33~47
長沼真澄	ヘーゲルの『精神現象学』と疎外論1	商学論叢	9	6	1968	p35~58
西川磯吉	NEGATIVE DIALEKTIK—弁証法に於ける否定性	竜谷大学仏教文化研究所紀要		7	1968	p70~88
橋本剛	ヘーゲル的転倒の再転倒とマルクス主義の成立2	学園論集(北海学園大)		12	1968	p89~99
細谷貞雄	自由と運命—若きヘーゲルの2つの断片	文化	32	2	1968	p1~72
渡辺祐邦	ヘーゲルにおける弁証法と生物学の諸問題—『精神現象学』の「自然の観察」に対する解釈の試み	北見工業大学研究報告	2	2	1968	p345~356
有尾繁	ヘーゲルにおける「定有」の論理	羽衣学園短期大学研究紀要		6	1969	p1~24

石黒光治	ヘーゲルの推理論	茨城大学教養部紀要(人文科学・社会科学・外国文学)		1	1969	p1~29
石黒光治	ヘーゲルの論理学の思弁性	茨城大学人文学部紀要			1969	p1~18
稲葉稔	ヘーゲル『精神現象学』に於ける「自意識」の研究序説(1)－『精神現象学』に於ける「生死の闘い」について－ Gewissheitと Wahrheit	哲学研究	44	5	1969	p49~78
大田莞爾	ヘーゲル哲学における思惟について	東海大学短期大学部紀要		3	1969	p21~35
大峯顕	キェルケゴールとヘーゲルの絶対的認識	キェルケゴール研究		6	1969	p22~31
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(10)	東京大学教養学部人文科学科紀要		50	1969	p17~35
加藤尚武	ヘーゲルにおける直接性、または言語の先験性について	哲学雑誌	84	756	1969	p191~212
亀岡利治	ヘーゲル論理学における有・無・成の論理－有の論理と本質の論理	高知大学学術研究報告(人文科学)	17	13	1969	p172~178
河内久雄	ヘーゲルの矛盾論	思想		536	1969	p75~96
木村靖比古	カントとヘーゲル	岩手大学教育学部研究年報		28	1969	p1~18
糸康広	世界的転換点の把握と絶対知の成立－ヘーゲル『精神現象学』の問題設定(上)	思想		541	1969	p26~39

糸康広	世界的転換点の把握と絶対知の成立－ヘーゲル『精神現象学』の問題設定(下)	思想		543	1969	p123～139
上妻精	フッセルとヘーゲル	理想		437	1969	p70～80
高柳良治	ヘーゲル国家論の基本性格	一橋論叢	61	3	1969	p78～84
高柳良治	ヘーゲルの労働観－とくに道具と機械の問題をめぐって	一橋研究		17	1969	p21～32
田中義久	イデオロギーの論理構造と主体	思想		539・541	1969	p75～96
塚本正孝	ヘーゲル弁証法の論理的考察－「有-無-成」の弁証法を中心として	札幌大谷短期大学紀要		5	1969	p97～114
西田照見	ヘーゲル法哲学的論理の社会科学的転向の過程－その一側面としての「上部構造」概念についての覚え書き	現代の理論	6	10	1969	p118～129
花田伸久・東城国裕	カントとヘーゲルにおける宗教思想	山口大学教育学部研究論叢(第1部)		18	1969	p105～135
前田利男	ヘーゲル哲学における自然と実存－精神医学の立場より	理想		430	1969	p69～78
吉田傑俊	労働と疎外－そのヘーゲルとマルクスにおける形態	文学会(神戸大)		43	1969	p1～29
和高信二	『美学』成立の基礎としてのヘーゲルの芸術観	美学		76	1969	p14～24

渡辺祐邦	ヘーゲルにおける弁証法と生物学の諸問題－『精神現象学』の「自然の観察」に対する解釈の試み(下)	北見工業大学 研究報告	2	4	1969	p617～ 658
青山政雄	ヘーゲル国家論の超克と弁証法の問題	哲学(北大哲学会)		6	1970	p73～106
石神豊	ヘーゲルにおける思惟の展開	東洋学術研究	9	2	1970	p140～ 154
石原達二	ヘーゲルの現象学と美学	理想(ヘーゲル)		449	1970	p55～64
市倉宏祐	ヘーゲルと実存主義	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p184～ 204
稲葉稔	『精神現象学』における疎外の問題	理想(ヘーゲル)		449	1970	p36～54
稲葉稔	『精神現象学』に於ける「意識の経験」の出発点	大阪工業大学 紀要(人文社会篇)	14	1	1970	p1～31
稲葉守	ヘーゲル美学における美的理念の構造	哲学誌		12	1970	p119～ 139
稲葉稔	ヘーゲル『精神現象学』に於ける「自意識」の研究序説2－『精神現象学』に於ける「主と奴」の弁証法について(推論と判断)	哲学研究	44	11	1970	p41～73
大枝秀一	「ヘーゲル国法論の批判」とマルクスの方法	理想		445	1970	p66～78
大月直治	ヘーゲルの判断	創立80周年記念 関西学院大学文学部 記念論文集			1970	p1～20
大村晴雄	語ること、私念、判断	実存主義		52	1970	p11～18
大村晴雄	ヘーゲル哲学とキリスト教	理想(ヘーゲル)		449	1970	p15～13

大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(9)	人文科学科紀要(東大教養学部)	5	1970	p17~35	
小倉志祥	ヘーゲル哲学における道徳の位置	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p112~131	
柿原篤弥	思惟の事象—ヘーゲルとハイデガーをめぐる	実存主義	52	1970	p19~30	
樫山欽四郎	ヘーゲルと現代	実存主義	52	1970	p1~10	
加藤尚武	共同存在の倫理性—理念的なものの本質とその経験可能性	実存主義	52	1970	p55~68	
加藤尚武	青年期ヘーゲルにおける「生」の弁証法	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p56~67	
加藤尚武	ヘーゲルにおける「経験」の問題—「経験」概念の成立と構成	理想(ヘーゲル)	449	1970	p65~75	
加藤尚武	弁証法の成立根拠—ヘーゲルを中心にして	R. ハイス「弁証法の本質と諸形態」(未来社)		1970	p267~311	
金子武蔵	ヘーゲル哲学のテーゼ	心	23	7	1970	p50~55
金子武蔵	ヘーゲルの頭蓋論(随想)	理想	447	1970	p67~74	
金子武蔵	実体は主体	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p26~40	
金子武蔵	『精神現象学』はいつ書かれたか(随想17)	実存主義	51	1970	p61~77	
金子武蔵	Eine entzweite Halfte(随想20)	実存主義	54	1970	p69~81	
金子昌弘	ヘーゲルにおける学問的認識	フィロソフィア	56	1970	p25~40	
亀尾利夫	デューイとヘーゲル	哲学会誌(弘前大学)	6	1970	p1~10	
茅野良男	ヘーゲルの哲学史と歴史哲学	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p82~101	

許萬元	ヘーゲル哲学研究における問題点	構造	9	8	1970	p25～45
小島章一	ヘーゲルの「愛」(Liebe)について	法哲学研究 (日本大学法学部創立80周年記念論文)			1970	p593～627
小西邦雄	ヘーゲルの「反照」理論	理想		447	1970	p79～87
小西邦雄	ヘーゲルの無限論	創文		80	1970	p2～11
小林靖昌	ヘーゲルの良心論—道徳的世界観のずらかし論理	実存主義		52	1970	p69～70
酒井修	絶対と限定—論理学における始元の問題	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p134～151
佐藤敏夫	主観性と物化の分裂と和解—ヘーゲルと現代神学	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p219～232
渋谷勝久	ヘーゲルの社会思想	実存主義		52	1970	p42～54
城塚登	ヘーゲルと現代—弁証法の発展	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p2～11
高柳良治	ヘーゲルとルソー—国家意志の問題を中心とする素描1	一橋論叢	64	3	1970	p101～109
高柳良治	ヘーゲルとルソー—国家意志の問題を中心とする素描2	一橋論叢	64	4	1970	p93～100
竹内良知	西田哲学の現在的意義について	哲学(日本哲学会)ヘーゲル生誕200年・西田幾多郎生誕100年記念 第29回〔日本哲学会〕大会特別報告		20	1970	p94～103
田路慧	ヘーゲルの自由意志論	哲学(広島哲学会)		22	1970	p1～14
田島節夫	構造論から見たヘーゲル	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p205～218

田中美知太郎	ヘーゲルとプラトン	哲学(日本哲学会)	20	1970	p1~21
田辺振太郎	ヘーゲル哲学における自然認識について(上)	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p102~112
田辺振太郎	ヘーゲル哲学における自然認識について(下)	思想(ヘーゲル特集)	557	1970	p85~97
東城国裕	若きヘーゲルのイエス像 2-「キリスト教の精神とその運命」に於ける運命の概念	教養論集(近畿大)	2	1970	p89~108
永井博	西田哲学の体系が意味するもの一つの視点から	哲学(日本哲学会)ヘーゲル生誕200年・西田幾多郎生誕100年記念 第29回 [日本哲学会] 大会特別報告	20	1970	p77~93
中埜肇	イデアリスムスと自由-ヘーゲル哲学の根本にあるもの	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p68~81
中埜肇	ヘーゲルと現代-イデアリスムスと自由	哲学(日本哲学会)ヘーゲル生誕200年・西田幾多郎生誕100年記念 第29回 [日本哲学会] 大会特別報告	20	1970	p72~76
中山愈	ヘーゲル「人倫の体系」の生成	哲学(広島哲学会)	22	1970	p15~32
中山愈	完成期のヘーゲルにおける人倫性の意義(その1)	鹿児島女子短期大学紀要	5	1970	p41~53
長谷川宏	ヘーゲルと言語	理想(ヘーゲル)	449	1970	p76~86
花崎皋平	ヘーゲル哲学とマルクス主義-思想史的視角からの一考察	思想(ヘーゲル特集)	555	1970	p171~183

氷上英廣	ニーチェにおけるヘーゲル像	理想(ヘーゲル)		449	1970	p24~35
廣松渉	ヘーゲルの社会思想と初期のマルクス	構造	9	8	1970	p64~83
船山信一	思想の言葉	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p132~133
細谷貞雄	ヘーゲルにおける哲学以前	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p40~50
細谷貞雄	自由を成就するもの	理想(ヘーゲル)		449	1970	p1~14
牧野紀之	ヘーゲルの目的論とパヴロフの第2信号理論ー労働の論理的性格	理想		440	1970	p63~75
武藤三千夫	ヘーゲルの『美学講義』にみられる芸術家論	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p152~170
武藤三千夫	芸術における時間序説ーヘーゲルの哲学と美学講義の時間論的考察	美学	21	1	1970	p12~32
村上恭一	ヘーゲル論理学における客観の世界の論理構造について	大阪学院大学論叢		15	1970	p151~172
谷嶋喬四郎	自己確信の理論ーヘーゲル哲学における自己意識の位置	実存主義		52	1970	p31~41
山下太郎	ヘーゲルと現代ーヘーゲル哲学と社会理論の問題	哲学(日本哲学会)ヘーゲル生誕200年・西田幾多郎生誕100年記念 第29回 [日本哲学会] 大会特別報告		20	1970	p50~71
山名章一	自然・または弁証場にかへりて	構造	9	8	1970	p84~105
山本信	科学的思考とヘーゲル哲学	思想(ヘーゲル特集)		555	1970	p12~25

横地房彦	ヘーゲル哲学について－ ヘーゲル誕生二百年記 念によせて	高千穂論叢		通号昭和 44年度	1970	p128～ 143
渡辺祐邦	ヘーゲルの『論理学』に おける生命の概念－18世 紀の科学と哲学に対する その関係について	哲学(日本哲 学会)		20	1970	p186～ 198
有尾善繁	ヘーゲルにおける「反省」 の論理	羽衣学園短期 大学研究紀要		7	1971	p1～25
一条正雄	ハイネのヘーゲル像をめ ぐって	岐阜大学教養 部研究報告		6	1971	p35～48
稲葉稔	ヘーゲル『精神現象学』 に於ける「自意識」の研究 序説 三－ヘーゲル『精 神現象学』に於ける「主と 奴」の弁証法について－ 推論と判断－	哲学研究	44	12	1971	p41～64
太田貞司	『精神現象学』における 「観察する理性」と自然観 の問題	唯物論		16	1971	p63～76
梶浦善次	ヘーゲル哲学における教 育思想	静修短期大学 研究紀要		2	1971	p1～8
金井淑子	「イエーナ精神哲学」にお ける精神の取扱い－ヘー ゲルの哲学的人間学へ の志向	倫理学研究		17・18	1971	p16～27
幸津國生	ヘーゲルにおける欲望の 概念	倫理学年報		20	1971	p105～ 117
小林靖昌	ヘーゲルの人倫思想1－ その根源としての良心論	岐阜大学教育 学部研究報告 (人文科学)		19	1971	p27～41

佐藤洋	ヘーゲルにおける教育論	哲学と教育		19	1971	p54～61
武田趙二郎	ヘーゲルにおける「自体」の問題	東海大学短期大学紀要		4	1971	p91～100
田村幸策	歴史哲学発展過程とヘーゲルの地位 生誕二百年記念の回顧(続編)	国士館大学政経論叢		15	1971	p1～26
出口純夫	ヘーゲルにおける時間	理想		460	1971	p25～37
寺岡弘雄	問答法の構造	文化学年報		20	1971	p86～100
戸田洋樹	ヘーゲル『論理学』に関する一考察—「有・無・成」の弁証法の非弁証法的解釈の試み	哲学雑誌	86	758	1971	p195～212
栃原敏房	ヘーゲル哲学の思想的原点—現代との関連において	精神科学		10	1971	p23～38
中山愈	完成期のヘーゲルにおける人倫性の意義(その2)	鹿児島女子短期大学紀要		6	1971	p1～13
永野基綱	ヘーゲル「実体=主体」テーゼについて	山梨県立女子短期大学紀要		5	1971	p117～123
日野信和	ヘーゲル『精神現象学』の一考察—「意識」から「自己意識」への移行	哲学論集		18	1971	p59～81
正木八郎	市民社概念と近代市民社会—ヘーゲルの現実認識と論理構成	経済学雑誌	65	2	1971	p71～88
増田良平	ヘーゲルにおける自由の研究1	群馬大学教養部紀要		5	1971	p1～21
向井守	『精神現象学』における不幸な意識の意義	思想		563	1971	p97～108

村上恭一	ヘーゲルの時間論—とくに「自然哲学」におけるヘーゲルの時間把握についての一考察	哲学(日本哲学会)	21	1971	p184～207
村上恭一	ヘーゲルの空間論—とくに「自然哲学」におけるヘーゲルの空間論を中心として	フィロソフィア	59	1971	p25～42
吉崎祥司	ヘーゲル弁証法の生成—「人倫の体系」における弁証法論理	哲学(北大哲学会)	7	1971	p20～41
鷲田小弥太	ヘーゲル『法の哲学』の端初概念	待兼山論叢	4	1971	p65～86
有尾善繁	ヘーゲル論理学における「概念の発生的叙述」についての一考察	羽衣学園研究紀要	8	1972	p1～22
アルムブルスター Z.	ヘーゲルにおける「神の存在証明について」	Horizont(上智大学哲学科)	2	1972	p22～82
石井伸男	ヘーゲルの弁証法的存在論と矛盾概念	哲学誌	15	1972	p87～105
伊藤結城夫	ヘーゲル哲学に於ける知覚と思惟—思惟の発展的抽象と具体性	函館大学論究	7	1972	p1～17
岩佐茂	ヘーゲル『論理学』の科学性について	哲学(北大哲学会)	8	1972	p62～82
大村晴雄	ヘーゲルの本質論理(10)	人文科学紀要(東大教養学部)	53	1972	p11～48
加藤尚武	青年ヘーゲルにおける「疎外論」の出発—ユートピアのジレンマ	思想	573	1972	p32～51

加藤尚武	疎外と承認—『精神現象学』における疎外論の構造	思想		581	1972	p1~22
加藤尚武	真理と存在	哲学雑誌	87	59	1972	p73~102
金井淑子	ヘーゲル哲学における「客観的精神」	長岡短期大学研究紀要		1	1972	p37~48
上山安敏	官僚制・国家試験・官僚法学1	法学論叢(京都大学)	91	2	1972	p1~30
上山安敏	官僚制・国家試験・官僚法学2	法学論叢(京都大学)	91	4	1972	p1~33
上山安敏	官僚制・国家試験・官僚法学3完	法学論叢(京都大学)	92	1	1972	p20~61
工藤喜作	ヘーゲルの悲劇論—レッティング、ゲーテとかかわりにおいて	『悲劇—その諸相と人間観—』(神奈川大学人文学研究叢書(一))神奈川新聞社刊		1	1972	p179~209
久保陽一	ヘーゲルにおける意識の問題	哲学(日本哲学会)		22	1972	p190~203
上妻精	ヘーゲル『精神現象学』	古田光編『哲学名著12選』(学陽書房)			1972	p136~160
小林道徳	懐疑論の『精神現象学』に対する関係	福井大学教育学部紀要(1人文科学)		22	1972	p19~39
小林靖昌	ヘーゲルの人倫思想2—ヘーゲルの「主観性」批判	岐阜大学教育学部研究報告(人文科学)		21	1972	p35~52
三箇文夫	H.マルクーゼのヘーゲル解釈—『理性と革命』を中心に	精神科学(小池覚淳先生古希記念号)		11	1972	p205~223
洪屋雄一郎	このものと普遍的なもの—ヘーゲル『精神現象学』における感覚的確信の問題1	久留米大学論叢	21	1	1972	p37~52
鈴木光録	ヘーゲル哲学序論	社会科学論集(新潟短期大学)		12	1972	p1~12

高柳良治	ヘーゲルのルソー批判について	国学院経済学	20	3	1972	p85～114
武田趙二郎	ヘーゲルにおける「理念」の問題について	創文		105	1972	p14～
田畑稔	純粹有と特定の有—一端初をめぐるヘーゲル・フョイエルバッハ関係(上)	理想		472	1972	p83～97
田村一郎	ヘーゲルにおける自由観の構造	哲学(北大哲学会)		8	1972	p1～29
鶴田孝	ヘーゲルにおける運命—「キリスト教の精神とその運命」の一考察	倫理学研究		2	1972	p43～52
峠尚武	ヘーゲルに於ける「神証明」についての序論—『論理学』研究への視点確立の為に	長野県短期大学紀要		26	1972	p33～42
栃原敏房	ヘーゲルと宗教	精神科学(小池覚淳先生古希記念号)		11	1972	p143～161
西村皓	ヘーゲルの愛の思想について	哲学(三田哲学会)		60	1972	p175～202
牧村元太郎	『精神の現象学』とは何か?—ヘーゲルの同著へのアプローチの試み	倫理学年報		21	1972	p97～108
増田良平	ヘーゲルにおける自由の研究2	群馬大学教養部紀要		6	1972	p1～20
水野建雄	ヘーゲルの歴史把握について	亜細亜大学教養部紀要		7	1972	p27～40
森田侑男	ヘーゲル哲学における言語の問題	明治大学教養論集		72	1972	p28～42

柳春生	ヘーゲル法哲学における主権の問題について	八幡大学論集	23	1・2・3	1972	p115～136
吉田千秋	ヘーゲル感性論研究—とくに感情について	名城商学		21(別冊)	1972	p1～36
吉田傑俊	歴史的なものと論理的なもの—ヘーゲル『論理学』本質論の一考察	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学篇)		23	1972	p11～29
鷺田小弥太	ヘーゲル『法の哲学』における世界観と弁証法—「緒論」をめぐるカント・ヘーゲル関係	理想		466	1972	p84～104
五十嵐靖彦	ヘーゲルの学問論—学問理性の倫理性について	倫理学年報		22	1973	p103～114
池田貞夫	ヘーゲルにおける客観的精神の概念をめぐる	東京教育大学文学部紀要		90	1973	p1～13
石神豊	ヘーゲル「法哲学」の課題	思索		6	1973	p32～51
伊藤結城夫	ヘーゲルに関する論理の基礎境域に対する考察	函館大学論究		8	1973	p1～13
岩城見一	ヘーゲル美学における近代	美学	94		1973	p12～23
遠藤克彦	ヘーゲルの社会思想—人間と人間の真の共同とは何か	思想		584	1973	p44～57
奥谷浩一	ヘーゲルの普遍・特殊・個別論	哲学(北大哲学学会)		9	1973	p98～125
尾崎和彦	若きヘーゲルにおける宗教思想の芽生え—シュツットガルト時代(1770—1788)	倫理学研究(関西倫理学会)		3	1973	p21～36

尾関周二	ヘーゲルの「概念」について	哲学論叢(京都大学哲学論叢刊行会)		1	1973	p52~63
表三郎	〈国家市民社会〉止揚の構図—ヘーゲルとマルクス	現代の理論(特集ヘーゲルからマルクスへ1)	10	7	1973	p64~84
表三郎	労働把握をめぐるヘーゲルとマルクス	現代の理論(特集ヘーゲルからマルクスへ2)	10	12	1973	p44~58
樫山欽四郎	ヘーゲルと現代	現代思想	1	12	1973	p72~83
加藤西郷	ヘーゲルにおける〈ソクラテスの死〉の意義	龍谷大学論集		400・401	1973	p385~400
加藤尚武	弁証法的理性の誕生	現代思想	1	12	1973	p140~159
金子武蔵・上妻精	対談 ヘーゲル哲学の基本的性格	現代思想	1	12	1973	p170~189
茅野良男	イエーナ時代のヘーゲル	現代思想	1	12	1973	p124~139
北川浩治	『精神現象学』の体系性について	哲学雑誌	88	760	1973	p159~178
沖浦和光	啓蒙思想にたいするヘーゲル哲学の革命性	現代の理論(特集ヘーゲルからマルクスへ1)	10	7	1973	p21~47
沖浦和光	ヘーゲル哲学体系における〈主体〉の問題	現代の理論(特集ヘーゲルからマルクスへ2)	10	12	1973	p5~21
久保陽一	チュービンゲン時代における青年ヘーゲルの疎外論	調布女子短大紀要		6	1973	p167~186
糸康弘	ヘーゲル市民社会論の構造—理性的=現実的の試金石	思想		583	1973	p29~44
糸康弘	ヘーゲル・国家論の形成と近代化の構図—理性的=現実的の試金石	名城商学	22	3	1973	p1~13

黒沢惟昭	愛国心教育に関する覚書 —ヘーゲル『法の哲学』 を中心にして	上田女子短期 大学紀要		2	1973	p17～24
上妻精	ヘーゲルにおける革命と 哲学	現代思想	1	12	1973	p107～ 123
後藤邦夫	ヘーゲルと現代—われわ れはなぜそこまでさかの ぼるのか	現代の理論 (特集ヘーゲ ルからマルク スへ1)	10	7	1973	p5～20
後藤邦夫	現代における「人間の復 権」をめぐるヘーゲルの 課題についてのノート	現代の理論 (特集ヘーゲ ルからマルク スへ2)	10	12	1973	p22～32
小林清一	ヘーゲルの全体性 (Totalitat)について—方法 の問題への一つの試み	季刊社会思想	3	2	1973	p105～ 134
小林道徳	ヘーゲル『精神現象学』 の考察[未完]	福井大学教育 学部紀要(1 人文科学)		23(哲学)	1973	p1～23
小林靖昌	ヘーゲルにおける「人倫 性」の概念—その主体的 把握の前提	倫理学年報		22	1973	p91～102
小林登	ヘーゲル弁証法の論理 構造	現代思想	1	12	1973	p34～41
坂本賢三	ヘーゲルの「人倫」概念 の成立	現代の理論 (特集ヘーゲ ルからマルク スへ1)	10	7	1973	p48～63
坂本賢三	ヘーゲルにおける「市民 社会」の位置—「人倫」概 念と近代社会の把握	現代の理論 (特集ヘーゲ ルからマルク スへ2)	10	12	1973	p33～43
佐久間孝 正	ヘーゲル、マルクス、 ウェーバー	理想		480	1973	p73～85

洪屋雄一郎	このものと普遍的なもの ーヘーゲル『精神現象学』における感覚的確信の問題2	久留米大学論叢	21	1	1973	p115～132
洪屋雄一郎	このものと普遍的なもの ーヘーゲル『精神現象学』における感覚的確信の問題3	久留米大学論叢	21	2	1973	p29～44
高田純	初期ヘーゲルにおける「自然」主義と「人間」主義ー「絶対知」の成立前史	哲学(北大哲学会)		9	1973	p72～97
高橋貞子	ヘーゲルの自然法の学問的取扱い方について	お茶の水女子大学人文科学紀要	26	1	1973	p1～18
高月義照	ヘーゲルの矛盾論	フィロソフィア		61	1973	p41～64
鶴田孝	若きヘーゲルにおける運命と自由ー「愛による運命との宥和」から「あるところのもの」の了解へ	佐賀女子短期大学研究紀要		7	1973	p52～58
寺沢恒信	ヘーゲル哲学の出発点としての『民族宗教とキリスト教』ーヘーゲル論理学の成立史的研究・その1	唯物論		1	1973	p156～185
峠尚武	ヘーゲルに於ける「神証明」の問題ーカントと対照しつつ	長野県立短期大学紀要		27	1973	p37～45
戸田洋樹	ヘーゲル哲学の成立についてーフィヒテ・シェリング哲学との関連から	哲学(日本哲学会)		23	1973	p111～124

中埜肇	ヘーゲルにおける政治的なもの	関西大学哲学		4	1973	p64～82
長江弘晃	青年ヘーゲルとキルケゴールー「対立」、「生」、そして「イエス・キリスト」をめぐって	精神科学		12	1973	p96～104
中埜肇	薔薇と十字架	現代思想	1	12	1973	p50～57
永野基綱	始元論に関する二つのノート〔ヘーゲル、マルクス〕	倫理学年報		22	1973	p115～123
似田貝香門	マルクスのPositiv概念をめぐってー人間存在の「肯定性」の検証	現代の理論 (特集ヘーゲルからマルクスへ2)		10	1973	p59～77
長谷川宏	青年のたゆたいーヘーゲルを読む	現代思想	1	12	1973	p159～169
船盛茂	『精神現象学』における「無限判断」と「推理」について	哲学(広島哲学会)		25	1973	p17～31
船山信一	青年ヘーゲルと壮年ヘーゲル	現代思想	1	12	1973	p58～62
牧野紀之	ヘーゲルの概念とマルクス賃労働者	思想		592	1973	p89～112
増田良平	ヘーゲルの宗教把握ープロテスタンティズムの危機についての思想的ー考察	群馬大学教養部紀要		7	1973	p1～17
三浦つとむ	ヘーゲルの亡霊	現代思想	1	12	1973	p42～49
向井俊彦	ヘーゲルによる分析的方法と総合的方法の批判について	哲学論叢(京都大学哲学論叢刊行会)		1	1973	p87～98
八木博克	ヘーゲルの客観的精神についてー理性と現実の宥和	木下学園女子短期大学研究集報		10	1973	p97～106

安井邦夫	ヘーゲルにおける「絶対者の反省的開示」	立命館文学		340・341・342	1973	p267～289
柳田謙十郎	ヘーゲル「歴史における理性」についての覚え書	科学と思想		10	1973	p114～127
山西龍郎	ヘーゲル研究ノート	一橋研究(一橋大学大学院生自治会)		26	1973	p175～186
山本道雄	イェナ時代のヘーゲルについての一考察—近代の黙示録「絶対自由と恐怖」	哲学研究	45	8	1973	p57～80
渡辺祐邦	ヘーゲル哲学における「主人と奴隷」—その発想の源泉と問題	北見工業大学研究報告	5	1	1973	p109～152
浅田宏	ヘーゲルの歴史哲学1	桃山学院大学人文科学研究	10	1	1974	p53～77
有尾善繁	ヘーゲル弁証法における現実的なものと観念的なもの	羽衣学園研究紀要		10	1974	p1～16
石黒光治	ヘーゲルの判断論	茨城大学人文学部紀要(文学部論集)		7	1974	p1～34
石井伸男	マルクスとヘーゲル—否定性の弁証法をめぐって	科学と思想		12	1974	p156～169
今井弘道	初期ヘーゲルにおける法と所有の問題1	法学論叢(京都大学法学会)	95	5	1974	p23～49
今井弘道	初期ヘーゲルにおける法と所有の問題2	法学論叢(京都大学法学会)	95	6	1974	p25～78
今井弘道	初期ヘーゲルにおける法と所有の問題3完	法学論叢(京都大学法学会)	96	1	1974	p27～45
岩佐茂	ヘーゲルの発展観と判断論	哲学(北大哲学学会)		10	1974	p83～100

大平伍郎	ヘーゲルにおける実践哲学の成立－「人倫の体系」試論	哲学(日本哲学会)		24	1974	p137～148
奥谷浩一	ヘーゲルの「普遍・特殊・個別」論	唯物論		2	1974	p286～305
小野健知	ヘーゲル研究－その家族観について	日本大学理工学部一般教育教室彙報		15	1974	p1～7
表三郎	ヘーゲルの国家・市民社会論－イエーナ実在哲学を中心として(上)	現代の理論 (特集ヘーゲルからマルクスへ3)	11	8	1974	p59～71
加藤西郷	ヘーゲルにおける人間の問題－「われ」と「われわれ」との統一の試み	龍谷大学論集		404	1974	p117～141
岸本晴雄	ヘーゲルにおける現実と哲学－歴史哲学を中心にして	日本福祉大学研究紀要		24	1974	p1～51
隈元忠敬	ヘーゲル『精神現象学』における〈Fürsichsein〉	広島大学文学部紀要		33(特輯1)	1974	p1～110
黒沢惟昭	愛国心教育に関する覚え書き－ヘーゲル『法の哲学』を中心にして	上田女子短期大学紀要		2	1974	p17～24
幸津國生	ヘーゲルにおける意識の主体性の問題－『精神現象学』に即して	倫理学年報		23	1974	p73～86
上妻精	教育家としてのヘーゲル1	成蹊大学文学部紀要		9	1974	p13～43
後藤邦夫	「自然哲学」の意義について－ヘーゲルにおける「自然」と「科学」は、われわれにとって何を意味するか	現代の理論 (特集ヘーゲルからマルクスへ3)	11	8	1974	p5～14

小西祐一	労働と経験—時・空論を中心として	現代の理論 (特集ヘーゲルからマルク	11	8	1974	p15~36
小沼堅司	ヘーゲルにおける近代認識	現代と思想		18	1974	p212~237
洪屋雄一郎	このものと普遍的なもの—ヘーゲル『精神現象学』における感覚的確信の問題 4	久留米大学論叢	22	2	1974	p83~97
武田趙二郎	ヘーゲルにおける「否定的統一」について	法政大学教養部紀要		19	1974	p63~77
田中芳美	若きヘーゲルにおける「ドイツ革命」	倫理学年報		23	1974	p59~71
田村一郎	ヘーゲルの自律観とルター	哲学(日本哲学会)		24	1974	p149~159
田村幸策	ヘーゲルの道徳哲学について—法哲学と歴史哲学に次ぐ試み	政経学会誌 (国士館大学)		3	1974	p1~17
津田市正	ヘーゲルにおける法哲学	近代法学	22	2	1974	p1~27
寺沢恒信	シェリングの往復書簡と実践理性の要請の問題—ヘーゲル論理学の成立史的研究・その2	唯物論		2	1974	p166~201
戸田洋樹	ヘーゲルの「絶対者」に関する一考察	熊本大学教育学部紀要(2人文科学)		23	1974	p1~14
富永厚	ルソー、ヘーゲル、マルクスを結ぶもの—普遍性と個別性、公と私の関係を中心として1	東洋大学紀要(文学部篇)		28	1974	p21~36
豊福淳一	ヘーゲルとキルケゴールの悲劇観	北海道教育大学紀要(1A人文科学)	24	2	1974	p57~70
中山愈	ヘーゲル『法の哲学』の二つの問題	倫理学年報		23	1974	p87~99

中山愈	マンフレッド・リーデルによる「ヘーゲルの《法の哲学》における自然と自由」	鹿児島女子短期大学紀要		9	1974	p49～62
西羽義夫	ヘーゲル哲学史に於ける論理と歴史	待兼山論叢		7(哲学篇)	1974	p1～13
野田又夫	ヘーゲルとキリスト教	野田又夫『西洋近世の思想家たち』(岩波書店刊)			1974	p299～344
松井良和	ヘーゲルと『アンティゴネー』	愛知県立大学文学部論集一般教育編		25	1974	p1～10
村上恭一	ヘーゲルとフランス革命—ヘーゲル・精神の現象学における「絶対自由と恐怖」の項についての考察	法政大学教養部紀要		19	1974	p14～61
八木博克	ヘーゲル哲学の体系と客観的精神について	木下学園女子短期大学研究集報		11	1974	p57～67
山西龍郎	ヘーゲルの「自我」概念—ヘーゲル哲学の方法論的解明のための一試論	一橋研究(一橋大学大学院生自治会)		27	1974	p153～167
湯田豊	シャンカラとヘーゲル—神観をめぐって	東洋学術研究	13	5	1974	p27～42
善家幸敏	新ヘーゲル学派の法哲学	愛知学院大学論叢	17	1・2	1974	p53～83
米永政彦	ヘーゲルの社会哲学1	鹿児島大学法文学部紀要(文学科論集)		9	1974	p29～48
渡辺祐邦	ヘーゲルにおける道具と代補性—技術の哲学のための序章	哲学(北大哲学会)		10	1974	p2～18

渡辺祐邦	ヘーゲル哲学の「隠された源泉」1-J. H. カンペと彼の「小ロビンソン」(1780)	北見工業大学 研究報告	5	2	1974	p249～ 270
渡辺二郎	帰りゆくものの影-自由論によせて	理想		492	1974	p54～67
浅田宏	ヘーゲルの歴史哲学2完	桃山学院大学 人文科学研究	10	2	1975	p51～63
鯉坂真	ヘーゲルの「必然性」概念-自由論検討のためのノート	哲学(関西大学 哲学学会)		6	1975	p121～ 142
粟田義彦	理性の自立-カント哲学の「精神」とヘーゲル	哲学誌		18	1975	p89～108
安藤洋	ヘーゲルの市民社会論-「福祉行政と職業団体」論を中心として	経済学雑誌	72	3	1975	p67～89
稲葉守	先験論理学と思弁論理学-根源統覚と概念	哲学誌		18	1975	p23～47
稲葉守	Idealisierung-ヘーゲル美の論理	人文学報		106	1975	p129～ 151
入江重吉	ヘーゲルの目的論-その主体と基本的視座	哲学論叢(京都大学哲学論 叢刊行会)		2	1975	p23～41
岩波哲男	青年ヘーゲルの思想形成と宗教-シュトゥットガルト時代を中心に	フィロソフィア		63	1975	p79～106
岩瀬充自	具体的自由としての国家	哲学(北海道 哲学学会)		11	1975	p113～ 131
生方卓	ヘーゲルにおける「欲求の体系」-講義筆記録の検討	政経論叢(明治大学政治経 済研究所)	44	2・3・4	1975	p115～ 176

生方卓	ヘーゲル法哲学とカール スバート決議－イルティン グの最近の研究を中心に	政経論叢(明 治大学政治経 済研究所)	43	6	1975	p103～ 126
海老澤善 一	ヘーゲル論理学研究1の 1－始原考 上	愛知大学文学 論叢		53	1975	p1～41
海老澤善 一	ヘーゲル論理学研究1の (2)－始原考 下	愛知大学文学 論叢		54	1975	p105～ 137
大井正	ヘーゲル学派研究のため の視座	政経論叢(明 治大学政治経 済研究所)	43	1・2・3・4	1975	p23～53
太田哲男	ヘーゲルの国家論への 一視角－市民社会との関 連で	倫理学研究 (東京教育大 学倫理学会)		22	1975	p69～77
太田哲男	ヘーゲルの「精神」の概 念について	倫理学年報		24	1975	p55～65
岡崎英輔	ヘーゲルとブルクハルト －「歴史の連続性」を中 心として	文経論叢	10	5	1975	p13～32
沖浦和光	ヘーゲル弁証法における <zu grunde gehen>に ついて	現代の理論	12	3	1975	p77～86
奥谷浩一	ヘーゲルの対象把握と 「推理論」1	論集(札幌商 科大学・札幌 短期大学学)		15	1975	p31～46
奥谷浩一	ヘーゲル『論理学』におけ る「判断」と実在1	唯物論		23	1975	p1～20
小野健知	ヘーゲル研究－Polizei について	日本大学理工 学部一般教育 教室彙報		16	1975	p1～7
角隆司	ヘーゲル『精神現象学』 における絶対者の問題	哲学論文集		11	1975	p57～71
北川浩治	『精神現象学』に於る感 覚的確信の構造について	熊本大学教育 学部紀要(人 文科学編)		10	1975	p188～ 174

木場深定	哲学と現実－ヘーゲルの場合についての覚え書き1	大谷学報	55	3	1975	p1～12
木村靖比古	カントとヘーゲル－政治哲学の比較考察	奥州大学紀要	8	1	1975	p12～25
木村靖比古	カントとヘーゲル－政治哲学の比較考察2	奥州大学紀要	8	2	1975	p42～55
許萬元	ヘーゲルにおける体系構成の原理	人文学報(東京都立大学人文学部)		106	1975	p107～128
久保陽一	ベルン時代における青年ヘーゲルの「カント主義」について(1)	調布学園女子短期大学紀要		8	1975	p62～92
黒沢惟昭	ヘーゲルの教育観について－『法の哲学』を中心1	人文研究(神奈川県立神奈川大学人文学会)		61	1975	p51～72
上妻精	ヘーゲルとシェリング	実存主義		71	1975	p28～41
上妻精	ヘーゲル『精神現象学』の歴史的前提 未完	一橋論叢	73	1	1975	p1～17
上妻精	ヘーゲル『精神現象学』の歴史的前提2	一橋論叢	74	3	1975	p269～287
上妻精	ヘーゲルにおける物と事	理想		509	1975	p101～115
小西祐一	ヘーゲルの社会哲学における空間概念の役割－人間－自然の構造	現代の理論	12	3	1975	p31～56
小林靖昌	ヘーゲルの人倫思想3－人倫性の概念とその展開	岐阜大学教育学部研究報告人文科学		23	1975	p59～80
近藤良樹	生成の論理－ヘーゲル弁証法とこれの批判	待兼山論叢		9(哲学篇)	1975	p1～16
佐々木宗夫	『精神現象学』研究－無限性と自由	哲学年誌(法政大学大学院哲学専攻)		9	1975	p49～88

佐藤和夫	ヘーゲルにおけるシステムの形成	唯物論		5	1975	p191～212
洪屋雄一郎	ヘーゲルにおける意識と精神の問題1	久留米大学論叢	24	2	1975	p75～85
将積茂	ヘーゲル論理学の論理性	唯物論		4	1975	p257～282
鈴木茂	ヘーゲルの判断論について1	松山商大論集(八木亀太郎教授記念号)	25	6	1975	p117～151
鈴木茂	ヘーゲルの判断論について2	松山商大論集	26	3	1975	p97～137
鈴木茂	ヘーゲルの判断論について3	松山商大論集(松山商科大学人文学部開設記念号)	26	4	1975	p193～240
添谷育志	ホッブズとヘーゲル—比較研究的解釈試論	理想		510	1975	p96～112
高柳良治	ヘーゲルにおける近代国家のイメージ『ドイツ憲法論』の国家概念をめぐって	国学院経済学	23	2	1975	p93～118
高田純	ヘーゲルの自由意志論—自由意志の思弁的本性とその社会的-倫理的実現	哲学(北海道大学哲学会)		11	1975	p73～91
種村完司	理念と客観的真理	哲学論叢(京都大学哲学論叢刊行会)		2	1975	p42～55
津田市正	ヘーゲルにおける法哲学	近代法学	22	3・4	1975	p29～60
角田史幸	ヘーゲル哲学生成史の根本問題	一橋研究(一橋大学大学院生自治会)		29	1975	p107～123
鶴田孝	ヘーゲル『精神現象学』の「真実なる精神、人倫」の一考察	長崎県立国際経済大学論集	8	3・4	1975	p57～70
鶴田孝	ヘーゲル『精神現象学』の「真実なる精神、人倫」の一考察	長崎県立国際経済大学論集	9	1	1975	p79～96

寺沢恒信	和合と存在は同義である	人文学報(東京都立大学人文学部)		106	1975	p1~29
戸田洋樹	『精神現象学』の構成をめぐって	熊本大学教育学部紀要 第2分冊 人文科		24	1975	p69~78
栃原敏房	ヘーゲル精神現象学の生成について	精神科学([日本大学]哲学科創設50周年記念号)		14	1975	p53~73
中尾隆司	弁証法とは何か?—K・ポパーのヘーゲル弁証法批判	神戸山手女子短期大学紀要		18	1975	p83~90
中山愈	ヘーゲルにおける福祉の概念	広島女子大学文学部紀要		10	1975	p43~56
中山愈	ヘーゲルの倫理における個人の位置	哲学(広島哲学会)		27	1975	p32~48
西川茂	〈哲学の要求〉に向って?—ヘーゲル・フランクフルト前期の思想軌跡	思索		8	1975	p24~50
花崎阜平	依存関係論におけるヘーゲルとマルクス(公開誌上討論)—ツェーグルンデゲーエン(zu grunde gehen)小考	現代の理論	12	3	1975	p57~64
早坂忠彬	ヘーゲル法哲学における市民社会の問題	山形女子短期大学紀要		7	1975	p75~87
船盛茂	『ヘーゲル初期神学論集』における根本概念としての生命	美作女子大学・美作短期大学研究紀要		20	1975	p1~11
別府芳雄	青年ヘーゲル学派とマルクス1	千葉敬愛経済大学研究論集(開学10周年記念)		9	1975	p133~156
松井良和	時間の思惟と思惟の時間—ヘーゲルの場合	哲学(日本哲学会)		25	1975	p120~130

松井良和	ヘーゲルにおける同一性について	愛知県立大学 創立10周年記念論集			1975	p1～22
水野建雄	歴史的理性の成立－初期ヘーゲルにおける「実定性」の問題	亜細亜大学教養部紀要		12	1975	p83～98
見田石介	ヘーゲルの弁証法がさかだちしているということについて	唯物論		4	1975	p4～30
望月清司	依存関係論におけるヘーゲルとマルクス（公開誌上討論）－人格的依存関係のなかの物象的契機－花崎さんに答える	現代の理論	12	3	1975	p64～76
森田啓嗣	「神の死」について－ヘーゲルとニーチェを中心に	倫理学研究（関西倫理学会）		5	1975	p39～47
八木博克	ヘーゲル哲学の弁証法について	木下学園女子短期大学研究集報		12	1975	p79～90
保井温	「所有」の二つの意味－ヘーゲルとマルクスの比較研究	哲学（日本哲学会）		25	1975	p158～170
山口祐弘	絶対者と反省の構造－否定の否定の連関	哲学（日本哲学会）		25	1975	p142～157
山口祐弘	概念の根源的分割について－ヘーゲルの判断論	哲学雑誌	90	762	1975	p224～249
山内昶	人間関係の原基構造－ヘーゲル・マルクス・サルトルにおける他者の概念	現代の理論	12	3	1975	p5～30
山崎庸佑	体系小考	哲学雑誌	90	762	1975	p52～79
湯田豊	ヘーゲルとインド哲学	人文研究（神奈川大学人文学会）		63	1975	p1～16

米永政彦	ヘーゲルの社会哲学2－ 道徳論について	鹿児島大学法 文学部紀要 (文学科論集)		10	1975	p69～90
渡辺義晴	バイエル『ヘーゲルにお ける実践概念』の理解	信州大学教養 部紀要 第1部 人文科学		9	1975	p1～27
足立美比 古	美と喪失－ヘーゲル美学 の再構成	情況		101	1976	p142～ 163
安彦一恵	G・W・F・ヘーゲル体系 以前期における思想形成 の内面的展開－ヘーゲ ルにおける〈理念〉と〈現 実〉1	哲学研究	46	1	1976	p73～97
安彦一恵	ヘーゲルの「近代」論	倫理学研究		6	1976	p23～32
荒木正見	ヘーゲル『精神現象学』 に於ける「知」の構造	哲学論文集		12	1976	p59～77
粟田義彦	ヘーゲルの概念とカント の根源的統覚	国学院雑誌	77	11	1976	p83～99
池田俊彦	ヘーゲル精神現象学にお ける「他者」	フィロソフィア		64	1976	p53～75
伊坂青司	ヘーゲル『精神現象学』 における実体＝主体論に ついて	思索		9	1976	p80～98
井田幸次 郎	物理学的認識とヘーゲル 精神現象学－物理的概 念はいかにして獲得でき るか	山梨大学教育 学部研究報告		27第2分 冊	1976	p11～16
伊藤之雄	ヘーゲル宗教哲学の問 題点－ヘーゲルからキルケ ゴールへ	研究紀要 / 東 洋英和女学院 短期大学		15	1976	p3～13
岩佐茂	イエーナにおけるシェリン グとヘーゲル『叙述』と 『差異』との比較を中心に	北海道大学文 学部紀要	25	1	1976	p71～111

岩淵剛	ヘーゲル「精神哲学」における自然概念	名城商学		25	1976	p1～20
岩城見一	彫刻と絵画—ゲーテ、F. シュレーゲル・ヘーゲル	京都市立芸術大学美術学部研究紀要		21	1976	p29～39
生方卓	ヘーゲルのポリツァイ論について	政経論叢(明治大学政治経済研究所)	44	5 6	1976	p159～200
海老澤善一	ヘーゲル論理学研究2—悪無限考	愛知大学文学論叢		55	1976	p1～40
藤野渉	ヘーゲルと私	情況		101	1976	p202～
大井正	D・F・シュトラウスのなかのヘーゲル	情況		101	1976	p204～231
大井正	ヘーゲル学派の分裂—その発端について	政経論叢(明治大学政治経済研究所)	45	1	1976	p1～55
大沢正道	マックス・シュティルナーの弁護	情況		101	1976	p248～262
奥谷浩一	ヘーゲル『論理学』における「判断」と実在2	唯物論		24	1976	p32～62
尾関周二	言語論的視覚からするヘーゲル「反照」論の一理解	哲学(日本哲学会)		26	1976	p151～162
樗山欽四	思いつくまま	情況		101	1976	p200～
梶浦善次	Hegelの哲学における教育思想—教育の社会的基礎	北海道女子短期大学研究紀要		9	1976	p1～16
春日誠	ヘーゲルにおける道徳性と不道徳なもの(1)	哲学年誌(法政大学大学院哲学専攻)		10	1976	p29～50
加藤尚武	ヘーゲル『精神現象学』における〈社会性〉の発想	情況		101	1976	p90～112
茅野良男	ドイツ観念論とヘーゲル	情況		101	1976	p44～60

川村栄助	ヘーゲル論理学の課題 ーヘーゲルがカントから 受け継ぎ、展開したもの	情況		101	1976	p113～ 127
河内久雄	ヘーゲルの反省論におけ る否定の論理の分析	山形大学紀要 人文科学	8	3	1976	p255～ 289
川村栄助	ヘーゲルにおける理念と 歴史性	大阪教育大学 紀要 I 人文 科学	25	2	1976	p73～89
北里秀郎	主体性と物化ー現代神学 への批判的視座としての ヘーゲル	基督教研究	40	1	1976	p34～54
木場深定	哲学と現実ーヘーゲルの 場合についての覚え書き 2	大谷学報	55	4	1976	p15～22
木村靖比 古	カント哲学とヘーゲル哲 学ー法・政治哲学の比較 考察の序論として1	奥州大学紀要	8	3	1976	p19～24
木村靖比 古	カント哲学とヘーゲル哲 学ー法・政治哲学の比較 考察の序論として2	富士大学紀要	9	1	1976	p55～68
久保陽一	ベルン時代におけるヘー ゲルの「カント主義」につ いて(2)	調布学園女子 短期大学紀要		9	1976	p93～123
糸康弘	ヘーゲル国家論体系の 構成	名城商学		26別冊	1976	p1～18
訓覇嘩雄	イェナ期ヘーゲルの国家 と宗教ー人倫国家から道 徳国家へ	哲学論集		23	1976	p14～30
幸津國生	初期ヘーゲルにおける 「生」の論理ー「愛による 運命との宥和」を中心に	都留文科大学 研究紀要		12	1976	p115～91

幸津國生	ヘーゲルにおける人間性の問題－「意識の共同」および身体性をめぐって	倫理学年報		25	1976	p91～115
上妻精	ヘーゲルにおける理論と実践の問題	情況		101	1976	p180～199
上妻精＋加藤尚武 廣松渉(司)	対談 ヘーゲル哲学の全体像	情況		101	1976	p5～43
小谷津博一	若きヘーゲルの研究について	精神科学		15	1976	p69～78
小林靖昌	ヘーゲルの「倫理的義務論」について－『法の哲学』148・150節をめぐる考察	倫理学年報		25	1976	p117～129
座小田豊	自由と共同－イエナ期ヘーゲルにおける個別者の問題	思索		9	1976	p99～118
佐々木俊三	ヘーゲルにおける反省の概念について	思索		9	1976	p40～59
佐藤和夫	ヘーゲルにおける「第二次法則」と「物自体」	哲学(日本哲学会)		26	1976	p163～172
渋谷勝久	『精神現象学』以前－ヘーゲルの思想と体系への志向	情況		101	1976	p61～76
洪屋雄一郎	ヘーゲルにおける意識と精神の問題2	久留米大学論叢	25	1	1976	p39～58
洪屋雄一郎	ヘーゲルにおける意識と精神の問題3	久留米大学論叢	25	2	1976	p103～114
島崎隆	ヘーゲルの「反省・反省諸規定」論	唯物論		6	1976	p219～237
鈴木茂	ヘーゲルの判断論について4	松山商大論集	26	5・6	1976	p87～124
銭広雅之	主-奴関係の論理	一橋論叢	76	4	1976	p71～77

高島善哉	市民社会概念に関するミスとヘーゲルの差異について	関東学院大学経済学会 経済系		110	1976	p1～13
滝川裕確	ヘーゲルに於ける時間の問題	龍谷哲学論集(龍谷哲学会)		1	1976	p44～71
武井勇四郎	チエルヌイシェフスキーの歴史哲学—ロシア・ヘーゲル左派	情況		101	1976	p298～317
竹内良知	ヘーゲルとの私のつきあい	情況		101	1976	p177～179
武市健人	ヘーゲルと私	情況		101	1976	p110～
田辺振太郎	ヘーゲルとエーテル説	情況		101	1976	p174～199
鶴田孝	ヘーゲル『精神現象学』の「真実なる精神、人倫」の一考察3完	長崎県立国際経済大学論集	10	2	1976	p39～47
戸田洋樹	ヘーゲル『精神現象学』論考	熊本大学教育学部紀要第2分冊 人文科		25	1976	p83～94
栃原敏房	ヘーゲルにおける哲学と歴史の問題	日本大学人文科学研究科研究紀要		18	1976	p1～15
中岡成文	若きヘーゲルの書きものにおける人格・静安・記憶等のモチーフ	哲学論叢(京都大学哲学論叢刊行会)		3	1976	p57～66
中埜肇	ヘーゲルの討論テーゼについて—体系と関連	情況		101	1976	p77～89
中埜肇	ヘーゲルの最も初期の体系構想	人文研究(大阪市立大学文学部)	28	6	1976	p370～387
中山愈	ヘーゲルにおける自由と必然	広島女子大学文学部紀要		11	1976	p63～74
西羽義夫	ヘーゲルと神の存在証明	大阪大学人間科学部紀要		2	1976	p45～79
船盛茂	ヘーゲル哲学における個性について	美作女子大学・美作短期大学研究紀要		21	1976	p1～12

船山信一	フョイエルバツハにおける ヘーゲルと反ヘーゲル	情況		101	1976	p232～ 247
坊城明文	ヘーゲル本質論序章－ 反省論理への問い	思索		9	1976	p60～79
細川亮一	ヘーゲルとフッサール－ 「現象学」概念をめぐる	思想		625	1976	p1095～ 1112
牧野広義	ヘーゲル論理学における 矛盾論	哲学論叢(京 都大学哲学論 叢刊行会)		3	1976	p67～81
増田良平	ヘーゲルの自然概念	群馬大学教養 部紀要		10	1976	p1～22
松村健吾	ヘーゲルに於ける概念の 構成	哲学誌		19	1976	p83～102
水野建雄	歴史的理性の成立2－初 期ヘーゲルにおける「運 命」の問題	亜細亜大学教 養部紀要		13	1976	p55～68
宮下春三	ヘーゲルの家族論	山脇学園短期 大学紀要		14	1976	p55～58
森田郁男	Hegelの時間概念につい て	東京学芸大学 紀要(第2部門 人文科学)		28	1976	p30～47
森田郁男	ヘーゲルの歴史哲学－ 歴史の理性的と贖罪の思 想	情況		101	1976	p128～ 141
山崎純	ヘーゲルにおける所有と 承認－イエナ「精神哲学」 研究	思索		9	1976	p119～ 138
山本啓	ヘーゲルの国家観とA・ ルーゲー哲学から政治 への転換	情況		101	1976	p263～ 297
湯田豊	ヘーゲルとシャンカラー－ 西洋的思惟とインド的思 惟	神奈川大学人 文研究所報		10	1976	p18～35

油納芳生	ベルン期ヘーゲル研究序論—その思想的立場について	法哲学年報			1976	p169～178
吉田傑俊	若きヘーゲルにおける理念と現実—啓蒙主義とロマン主義の克服	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文社会科学篇)		28	1976	p1～18
米沢穂積	ヘーゲルの宗教哲学—さらなる十字架と薔薇とを求めて	情況		101	1976	p164～179
米永政彦	ヘーゲルの社会哲学3	鹿児島大学法文学部紀要(文学科論集)		11	1976	p25～47
渡辺二郎	ニヒト・ヌールとニヒト	情況		101	1976	p316～317
渡辺マサ子	青年ヘーゲルのキリスト教解釈	三島学園女子大学女子短期大学紀要		12	1976	p53～63
池端秀雄	ヘーゲルと空海—東洋と西洋哲学比較研究	比較思想研究		4	1977	p72～78
石神豊	ユダヤ教の律法とカント道徳律—初期ヘーゲルにおけるカント倫理学批判の成立	東洋学術研究	16	5	1977	p137～152
伊藤之雄	ヘーゲル宗教哲学の問題点—ヘーゲルからキルケゴールへ	東洋英和女学院研究紀要		15	1977	p3～13
入江重吉	ヘーゲル目的論の論理構造	哲学(日本哲学会)		27	1977	p126～136
岩波哲男	ヘーゲルと歴史	実存主義		79	1977	p40～47
江崎栄二	「自然的人倫」における市民社会と家族—ヘーゲル「人倫の体系」に関する考察	経済科学	24	4	1977	p77～94

海老澤善一	ヘーゲル論理学研究3－反省の弁証法	愛知大学文学論叢		58	1977	p1～36
太田哲男	ウィーン会議後のヘーゲル－その転回について	倫理学年報		26	1977	p73～85
岡崎英輔	運命と歴史－若きヘーゲルにおける歴史意識の成立をめぐる	思索		10	1977	p22～40
木村靖比古	カント哲学とヘーゲル哲学－法・政治哲学の比較考察の序論として3	富士大学紀要	9	2	1977	p31～42
木村靖比古	カント哲学とヘーゲル哲学－法・政治哲学の比較考察の序論として4	富士大学紀要 (故佐藤保太郎教授追悼号)	10	1	1977	p65～78
工藤豊	ヘーゲル『法哲学』の一考察－国家にいたる「自由」の展開	経済系		111	1977	p61～70
久保陽一	ベルン時代におけるヘーゲルの「カント主義」について(3)	調布学園女子短期大学紀要		10	1977	p119～148
訓覇嘩雄	イェナ期の国家観と『精神現象学』－政治とそれをこえること	大谷大学研究年報		30	1977	p49～92
黒沢惟昭	ヘーゲルの教育観について－『法の哲学』を中心に2	人文研究		67	1977	p91～103
上妻精	イェナ時代のヘーゲル2－一つの素描	一橋論叢	78	2	1977	p125～142
上妻精	イェナ時代のヘーゲル－一つの素描	一橋論叢	77	2	1977	p159～175
近藤良樹	対立と調和	哲学論叢(大阪大学文学)		1	1977	p81～106

斎藤孝	精神と共同体－ヘーゲル『イェナ実在哲学』を中心として	早稲田政治公法研究		6・7	1977	p88～97
齊藤秀夫	ヘーゲルの関係範疇	哲学年誌(法政大学大学院哲学専攻)		11	1977	p43～61
佐々木俊三	行為と権利－ヘーゲル『法哲学』を中心にして	思索		10	1977	p61～82
佐藤瑠威	ヘーゲルにおける精神1－ヘーゲル精神哲学の現代的意義をめぐって	別府大学紀要		18	1977	p68～76
島崎隆	ヘーゲル論理学体系の構造－矛盾概念との関連から	唯物論	25		1977	p43～61
島崎隆	ヘーゲル弁証法的論理に関する考案－「論理的なもの」の三側面を中心にして	一橋論叢	77	5	1977	p574～589
寿福真美	ヘーゲルにおける市民的ゲマインヴェーゼンの論理	思想		632	1977	p207～223
寿福真美	ヘーゲルの自由概念と全体的人間の思想	社会労働研究	23	2	1977	p1～18
高橋和義	ヘーゲルの二重精神の体系	哲学論集(上智大学哲学)		6	1977	p52～68
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒介の思想	哲学論叢(大阪大学文学部)		1	1977	p1～36
谷喬夫	『精神現象学』における〈支配〉と〈隷属〉の倫理－社会的存在論への一考察2	法学新報	83	4～6	1977	p17～45
谷口孝男	ヘーゲル法哲学(一八二一年)における社会的人間論	哲学(北海道大学哲学会)		13	1977	p81～100

谷喬夫	『精神現象学』における 〈支配〉と〈隷属〉の倫理 —社会的存在論への一 考察1	法学新報	83	1～3	1977	p133～ 156
種村完司	ヘーゲルにおける表象の 問題	鹿児島大学教 育学部研究紀 要 人文社会 科学篇		29	1977	p1～21
鶴田孝	ヘーゲル『精神現象学』 における「法的状態」の一 考察	長崎県立国際 経済大学論集	11	1	1977	p83～103
寺沢恒信	ヘーゲルの『大論理学』 の初版について	東京唯物論研 究会編『現代 の唯物論研 究』(合同出			1977	p219～ 227
中山愈	ヘーゲルにおける苦しみ の場所1	広島女子大学 文学部紀要		12	1977	p15～22
西山勤二	ヘーゲルの哲学と歴史と のあいだを宥和する企て	橘女子大学研 究紀要		5	1977	p141～ 123
浜谷征彦	ヘーゲルの人倫の哲学1	大阪府立大学 紀要(人文・社 会科学)		25	1977	p51～60
福吉勝男	ヘーゲルにおける「事そ のもの」と「疎外」	唯物論		7	1977	p146～ 167
藤田正勝	イエナのヘーゲルと『精 神現象学』	哲学論叢(京 都大学哲学論 叢刊行会)		4	1977	p31～41
船盛茂	若きヘーゲルの研究—青 年時代における宗教論と その意味するもの	美作女子大 学・美作短期 大学研究紀要		22	1977	p42～57
坊城明文	ヘーゲル本質論序章2— 反省から根拠へ	思索		10	1977	p83～102
松井良和	信仰と理性の間—ヘーゲ ルのキリスト教解釈をめぐ って	愛知県立大学 文学部論集 —一般教育編		27	1977	p15～31

松井良和	ヘーゲルの「存在一論理学」について	哲学(日本哲学会)		27	1977	p115~125
松本正男	ヘーゲルの「理念」の歴史哲学について	哲学(日本哲学会)		27	1977	p137~148
村越雅雄	ヘーゲル『法の哲学』における「人格」の概念規定	哲学(北海道大学哲学会)		13	1977	p24~41
八木博克	ヘーゲル哲学における客観的精神の研究―「所有」の概念を中心とする	木下学園女子短期大学研究集報		14	1977	p55~65
山口祐弘	具体的普遍の結構―ヘーゲルの推理論について1	千葉大学教養部研究報告A		10	1977	p41~72
山本道雄	ヘーゲル「市民社会」論についての考察	神戸大学教養部論集		18	1977	p1~40
吉田六弥	ヘーゲルの推論	哲学論叢(大阪大学文学)		1	1977	p65~80
両角英郎	ヘーゲルの目的論	沖縄国際大学教養部紀要	4	4	1977	p25~47
渡辺二郎	ヤコービのフィヒテ宛公開書翰	実存主義		80	1977	p2~17
渡辺二郎	ヘーゲルにおける「意識の超越性」寸描	哲学雑誌	92	764	1977	p42~61
渡辺二郎	ヘーゲルとニヒリズム	朝日新聞(夕刊)		32889	1977.7.1	p7
赤松常弘	ヘーゲル『精神現象学』における意識について	人文科学論集(信州大学人文学部文学)		12	1978	p25~38
安彦一恵	ベルン時代におけるヘーゲルの《自由》概念	実践哲学研究(京都大学文学部倫理学研究室内実践哲学研究会)		1	1978	p1~20
有尾善繁	本質と現象	羽衣学園短期大学研究紀要		14	1978	p1~12
粟田義彦	ヘーゲル論理学に於ける端初からの前進と反省について	国学院雑誌	79	12	1978	p24~38

生松敬三・川村二郎	対話:ヘーゲルの時代ー ヘーゲルの時代/ヘー ゲルとフランス革命/ ゲーテとドイツロマン派/ カントとショーペンハウ アー/マルクスからヘー ゲルへドイツの文学と哲 学/ナイーブとセンチメン ターリッシュ/弁論法とイ ロニー/ロマン主義と近 代	現代思想		408	1978	p100~ 213
伊坂青司	ヘーゲルの〈疎外〉概念 ー〈外化〉との関連におい て	思索		11	1978	p78~97
石神豊	ヘーゲルとキリスト教(上) ー愛の立場から良心の 立場へ	東洋学術研究	17	2	1978	p135~ 156
稲福日出夫	若きヘーゲルにおける 「家族」の倫理ー『法哲 学』への接近、序章	同志社法学	30	4	1978	p810~ 825
岩波哲男	ヘーゲルと宗教	フィロソフィア (櫻山欽四郎 先生追悼号)		66	1978	p1~23
上野忠士	世界審判としての世界史 ーヘーゲルの自由の精 神の発展について	大阪教育大学 紀要11 社会 科学・生活科 学	26	3	1978	p53~61
江口再起	ヘーゲルとルター	神学雑誌		11	1978	p94~106
海老沢善一	純粋学としてのヘーゲル 論理学	理想		540	1978	p132~ 145
海老沢善一	ヘーゲル論理学研究4ー 概念の推理的構造	愛知大学文学 論叢		60	1978	p1~52

大田孝太郎	『精神現象学』におけるヘーゲルの市民社会観	哲学論叢(大阪大学文学部)	3	1978	p41~60
太田秀通	ヘーゲルの奴隷観の一断面	歴史評論	334	1978	p73~76
大庭健	ヘーゲル宗教哲学のバウアー的転覆—近代的主体の先験的反省の行方を追って	現代思想	408	1978	p390~407
小栗浩	ゲーテとヘーゲル	現代思想	408	1978	p214~224
尾関周二	ヘーゲルにおける個人と道徳的自由の問題	倫理学研究(関西倫理学会)	8	1978	p26~35
片柳栄一	若きヘーゲルにおける「民族宗教」の理想とキリスト教の実定性1	関西学院大学論攷	39	1978	p47~64
加藤尚武	市民社会観の転回—スミスとヘーゲル	展望	234	1978	p24~41
加藤西郷	若きヘーゲルにおける<Positivitat>の問題—イエスは、何故挫折したか	竜谷大学論集	412	1978	p74~92
加藤尚武	革命の死んだ日に歴史が生まれた—ヘーゲル哲学における「歴史」	現代思想	408	1978	p120~143
加藤尚武	創造以前の神の叙述	理想	540	1978	p114~131
門倉正美	ヘーゲルの命題形式批判—「思弁的命題」論を中心として	思索	11	1978	p37~57
金子武蔵	ヘーゲルの宗教論	信濃教育	50	1978	

茅野良男	シェリングのヘーゲル批判－ヘーゲル－周忌の講義から	理想		540	1978	p93～113
茅野良男	ヘーゲルの体系構成に関する一考察	現代思想		408	1978	p88～104
木村靖比古	カント哲学とヘーゲル哲学－法・政治哲学の比較考察の序論として5	富士大学紀要	10	2	1978	p19～27
木村靖比古	カント哲学とヘーゲル哲学－法・政治哲学の比較考察の序論として6	富士大学紀要	11	1	1978	p77～88
工藤豊	ヘーゲルの歴史観－歴史の哲学的考察	経済系		118	1978	p62～70
久野昭	自由の樹	現代思想		408	1978	p291～
久保陽一	ベルン時代における青年ヘーゲルの「カント主義」について(4)	駒沢大学「文化」		4	1978	p35～54
久保陽一	青年ヘーゲルにおける「転回」の前提－チュービンゲン神学に対するシェリングとの共同闘争について	哲学(日本哲学会)		28	1978	p151～163
糸康弘	市民社会の解体とヘーゲル哲学の崩壊	名城商学(原田二郎教授定年退職記念)		27別冊	1978	p1～22
桑原和久	ヘーゲル弁証法の非科学性とマルクスの価値論	経世論集(日本大学大学院経済学研究科)		4	1978	p1～28
堅田剛	ヘーゲル、サヴィニー、グリム－ベルリン1818	現代思想		408	1978	p307～319

上妻精	イエナ時代のヘーゲル— 一つの素描3	一橋論叢	80	5	1978	p607～ 625
上妻精	ハイデガーとヘーゲル— 時間論を中心にして	理想		542	1978	p172～ 190
上妻精	ヘーゲルにおける二律背 反論—思弁的理性の誕 生地	現代思想		408	1978	p56～73
香西敏器	ヘーゲル哲学の形成につ いての一考察	山梨学院大 学・一般教養 論集		創刊号	1978	p133～ 152
国分幸	チェコフスキの行為の 哲学	現代思想		408	1978	p374～ 388
小松洋一	イエナ期ヘーゲルにおけ る宗教の概念	待兼山論叢		11(哲学 篇)	1978	p1～15
近藤良樹	可能性・現実性・必然性 —ヘーゲルの様相論	理想		540	1978	p192～ 202
佐々木政 憲	ヘーゲルにおける社会＝ 歴史認識の考察—『精神 現象学』「自己意識」章を 中心に	経済科学	25	4	1978	p136～ 158
佐々木宗 夫	有限者と無限者との統一 —青年期ヘーゲルの問 題	法政大学大学 院紀要		1	1978	p3～16
里村隆	ヘーゲルにおける「不幸 な意識」	哲学年誌(法 政大学大学院 哲学専攻)		12	1978	p1～24
四日谷敬 子	ヘーゲル美学に於ける 「仮現」の範疇と絵画理 論	理想		540	1978	p177～ 191
柴田隆行	ヘーゲル哲学とことば論1 —『精神の現象学』にお けるMeinen-Sprache- Wort	白山哲学		12	1978	p106～ 126

杉田正樹	同一律から同一性へー ヘーゲルの同一律に関 する註釈の一解釈	関東学院大学 文学部紀要 (相川高秋先 生定年記念特 集)		26	1978	p107～ 126
鈴木茂	ヘーゲルの判断論につい て5	松山商大論集	28	6	1978	p45～77
瀬尾育生	ヘーゲル美学思想につい ての諸註	名古屋工業大 学学報		30	1978	p77～85
高山守	「感覚的確信」における 「豊かさ」の探求ーヘーゲ ル『精神現象学』研究	アカデミア 人 文・自然科学 編、保健体育 編(国分敬治 教授、小林知 生教授退職記 念号)		28	1978	p119～ 145
高橋洋児	意識と対象の展開構造ー 『精神現象学』における 「叙述」の一特質	現代思想		408	1978	p320～ 345
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒 介の思想(2)	哲学論叢(大 阪大学文学 部)		3	1978	p1～22
武田趙二 郎	イエーナ期におけるヘー ゲルの法概念の生成の 意義	フィロソフィア (樫山欽四郎 先生追悼号)		66	1978	p49～75
竹村喜一 郎	ヘーゲル国家論の原像と 位相ー近代自然法批判 への視座	現代の眼	19	2	1978	p260～ 271
谷口孝男	ヘーゲル精神現象学にお ける感覚的確信知の弁証 法	哲学(北海道 大学哲学会)		15	1978	p23～48
種村完司	カントとヘーゲルの自由 論	唯物論		5	1978	p122～ 145
種村完司	ヘーゲルにおける表象の 問題	鹿児島大学教 育学部研究報 告		19巻	1978	p1～21
竹林子	双眼鏡: 芸術は過去のも のかーヘーゲルの予測	理想		540	1978	p220

椿幸雄	ヘーゲルの刑法上の緊急行為論	国士館法学		10	1978	p159～195
鶴田孝	ヘーゲル『精神現象学』とフランス革命	長崎県国際経済大学論集	11	3	1978	p53～79
鶴田孝	ヘーゲル『法の哲学』の生成とその世界	長崎県立国際経済大学論集	12	1	1978	p59～101
出口純夫	ヘーゲルと言葉－思弁的命題の問題	人文論集(早稲田大学法学会)		16	1978	p1～35
豊福淳一	ヘーゲルと自然法思想	倫理学年報		27	1978	p75～88
中埜肇	イエナ体系に関する形式的考察－講義題目から見て	現代思想		408	1978	p74～87
中埜肇	ヘーゲル哲学とヨハネ福音書－ひとつの仮説	理想		540	1978	p51～66
中村憲司	ヘーゲルの「意識」について	西南女学院短期大学研究紀要		25	1978	p27～34
中山愈	ヘーゲルのヒポコンデーリーについて	倫理学年報		27	1978	p89～101
中山愈	ヘーゲルにおける苦しみ の場所2－孤独	広島女子大学文学部紀要		13	1978	p87～100
西川茂	主体と超越－ヘーゲル・フランクフルト期への一視点	思索		11	1978	p18～36
西羽義夫	ヘーゲルのアンチノミー論	哲学論叢(大阪大学文学)		2	1978	p1～54
長谷川宏	『差異』論文の周辺	理想		540	1978	p146～159
長谷川宏	美意識の構図－ヘーゲル『美学講義』をよむ	現代思想		408	1978	p174～189
浜谷征彦	ヘーゲルの人倫の哲学2	大阪府立大学紀要(人文・社会科学)		26	1978	p65～75

浜谷征彦	『精神現象学』における 固体性の原理と相互承認	現代思想		408	1978	p346～ 104
早坂忠彬	チュービンゲン時代にお ける青年ヘーゲルの道徳 観について	山形女子短期 大学紀要		10	1978	p77～86
廣松渉	「意識の経験の学」の構 制	現代思想	6	7	1978	p39～56
廣松渉・加 藤尚武	対談：ヘーゲル哲学の世 界	理想		540	1978	p2～50
廣松渉	「上昇的展開」と四肢構 造	現代思想	6	9	1978	p192～ 207
廣松渉	「下降」の途と上向的論 述	現代思想	6	10	1978	p180～ 196
廣松渉	何故いまヘーゲルなのか	現代思想	6	16	1978	p8～32
船盛茂	若きヘーゲルの研究－宗 教から哲学へ	美作女子大学 美作短期大学 研究紀要		23	1978	p41～53
船盛茂	『フィヒテの哲学体系と シェリングの哲学体系の 差異』におけるヘーゲル の哲学的思惟	哲学(広島哲 学会)		30	1978	p1～15
船山信一	ヘーゲルの現象学的観 念論－そのアンティ・ テーゼとしての人間学的 唯物論のために	現代思想		408	1978	p105～ 119
星野智	シュティルナーのヘーゲ ル左派批判	理想		540	1978	p203～ 214
星野智	シュティルナーにおける ヘーゲル主義 所有の問 題を中心に	現代思想	6	16	1978	p360～ 373
星野勉	ヘーゲルのテーゼ「実体 は主体である」－その判 断論－命題論的解明	社会科学紀要		28	1978	p232～ 256

前田庸介	ヘーゲルにおける「自然主義」の問題—『精神現象学』についての一考察	一橋論叢	80	3	1978	p349～366
水野建雄	ギリシアにおける「自然」とヘーゲルの「精神」—西洋における「自然」の原意と展開	アジア研究所紀要		5	1978	p25～47
山口祐弘	ヘーゲルの推理論について2 無限判断と推論	哲学(日本哲学会)		28	1978	p164～176
山崎純	青年ヘーゲルにおける共和主義と「カント主義」	思索		11	1978	p58～77
山崎照雄	ヘルダーリンとヘーゲル—序—〈詩と思想との対話〉をめぐるひとつの独白(モノローグ)	教養論叢(慶応義塾大学法学部法学研究会)		50	1978	p1～36
山崎康佑	ヘーゲルにおける歴史的—精神的世界の成立	哲学論文集		14	1978	p1～18
山本啓	三月前期とヘーゲル、ルーゲの国家観	現代思想		408	1978	p408～426
山本定祐	ヘーゲルとロマン派—フリードリッヒ・シュレーゲルの場合	現代思想		408	1978	p299～306
山本道雄	ヘーゲル法哲学における「心術」の問題	理想		540	1978	p160～176
吉田六弥	ヘーゲルの反省論—反省の推論	待兼山論叢		12(哲学篇)	1978	p17～32
渡辺二郎	力と悟性	現代思想		408	1978	p158～
渡辺二郎	『精神現象学』「意識」の章 襍記	理想		540	1978	p67～92

安彦一恵	G.W.F.ヘーゲル体系以前期における思想形成の内面的展開－ヘーゲルにおける〈理念〉と〈現実〉2完	哲学研究	46	8	1979	p712～738
安藤洋	ヘーゲルの「市民社会」論－「イエナ実在哲学」における経済観を中心として上	日本福祉大学研究紀要		40	1979	p106～56
安藤洋	ヘーゲルの「市民社会」論－「イエナ実在哲学」における経済観を中心として下	日本福祉大学研究紀要		41	1979	p170～113
飯島昇蔵	ヘーゲル国家論の一解釈－『法の哲学』における身分論の考察を中心にして	早稲田政治経済学雑誌		259・260	1979	p179～209
筏津安恕	新ヘーゲル主義法学の一断面	名古屋大学法政論集		78	1979	p383～412
井口正俊	ヘルダーリンとヘーゲル－ドイツ観念論のある断面	理想		554	1979	p56～80
伊藤一美	ヘーゲル「精神」の生成	幾徳工業大学研究報告 A人文社会科学編		3	1979	p140～122
岩淵剛	ヘーゲル道徳論の研究(その1)	岡崎女子短期大学研究報告		12	1979	p31～39
上野忠士	世界審判としての世界史2－ヘーゲルの自由の精神の発展について－東洋世界	大阪教育大学紀要Ⅱ社会科学・生活科学	27	3	1979	p93～102
梅林誠爾	ヘーゲルと運動の矛盾	唯物論		11	1979	p171～192

奥谷浩一	ヘーゲルの理念論	哲学(北海道 大学哲学会)		16	1979	p1~25
尾関周二	経験と真理ーヘーゲル 『精神現象学』・「緒論」の 意義に触れて	東京農工大学 一般教育部紀 要		15	1979	p1~9
片柳栄一	若きヘーゲルにおける 「民族宗教」の理想とキリ スト教の実定性2	関西学院大学 論攷		42	1979	p75~99
金子武蔵	ヘーゲル『精神の現象 学』のひとつの解釈	日本学士院紀 要	36	2	1979	p81~153
北川浩治	知覚と言語に就いてー ヘーゲル『精神現象学』 の議論から	熊本大学教養 部紀要 人文・ 社会科学編		14	1979	p124~ 107
木村靖比 古	カント哲学とヘーゲル哲 学ー法・政治哲学の比較 考察の序論としてー7完	富士大学紀要	11	2	1979	p62~75
糸康弘	市民社会の解体とヘーゲ ル哲学の崩壊	思想		656	1979	p96~110
訓覇嘩雄	国家と宗教ーヘーゲルに おけるその連関の諸相	大谷学報	59	3	1979	p36~49
堅田剛	ヘルダーとヘーゲルード イツ精神史の深層へ	思想		664	1979	p96~113
上妻精	ヘーゲルから見たキルケ ゴール	理想		555	1979	p153~ 168
小島章一	ヘーゲルのイソップ寓話 に対する解釈について	桜文論叢(日 本大学法学部 法学研究所)		9	1979	p13~38
小林靖昌	ヘーゲルの家族論	岐阜大学教育 学部研究報告 人文科学		27	1979	p1~16
佐々木俊 三	ヘーゲルにおける意識と 真理概念	思索		12	1979	p60~79

佐々木孝洋	ヘーゲル『精神現象学』における「道徳性」について－「共同性」と「自己知」をめぐる問題	哲学論文集		15	1979	p85～105
柴田隆行	ヘーゲル哲学とことば論2－ヘーゲル論理学の表現主義	白山哲学		13	1979	p76～99
白井健三郎	哲学教育・デリダ・ヘーゲル(論壇)	世界		404	1979	p14～18
高田純	ヘーゲルの倫理的行為論上	帯広畜産大学 学術研究報告 第2部	5	2	1979	p51～76
高田純	ヘーゲル相互承認の確立	哲学(北海道 大学哲学会)		16	1979	p65～88
高山守	「物の内なるもの」をめぐって－ヘーゲル『精神現象学』における「力と悟性」の項の一解釈	アカデミア 人文・自然科学編、保健体育編		30	1979	p29～61
竹村喜一郎	初期ヘーゲルにおける共同と自由－「キリスト教の精神とその運命」におけるイエス像の光芒	倫理学年報		28	1979	p75～88
舘野 受男	ヘーゲル法哲学研究(その一);所有論について	茨城工業高等 専門学校研究 彙報		14	1979	p1～12
田中茂樹	ヘーゲルの法哲学における即自かつ対自的な国家(1)	法と政治(関西学院大学法政学会)	29	34	1979	p43～69
田原八郎	ヘーゲル論理学の研究1	大谷女子大学 紀要	14	1	1979	p49～95
田畑稔	ヘーゲル歴史哲学と理性の狡知	哲学論叢(大阪大学文学部 哲学哲学史第二講座)		4	1979	p43～69
東城国裕	イエナ後期に於けるヘーゲルの社会観	佐賀大学教養部研究紀要		11	1979	p1～39

中村憲司	Über Hegels Auslegung von Jesus Christus	西南女学院短期大学研究紀要		26	1979	p79～81
中村玄二郎	ヘーゲル精神現象学における「転倒」の問題	フィロソフィア		67	1979	p199～215
中山愈	ヘーゲルにおける悲劇と運命	広島女子大学文学部紀要		14	1979	p57～69
西山勤二	ヘーゲルの哲学と歴史とのあいだを宥和する企て	橘女子大学研究紀要		5	1979	p141～123
浜谷征彦	ヘーゲルの人倫の哲学3	大阪府立大学紀要(人文・社会科学)		27	1979	p35～42
早坂忠彬	ヘーゲルにおける社会把握の方法—『精神の現象学』と『法の哲学』における方法の相違	山形女子短期大学紀要		11	1979	p101～109
藤原保信	分裂と統一—ヘーゲル市民社会像の形成	早稲田政治経済学雑誌(平田富太郎教授定年退職記念論文集)		256・257	1979	p205～228
藤原保信	理想と現実の宥和1—初期ヘーゲルの政治思想	早稲田政治経済学雑誌		258	1979	p31～62
船盛茂	若きヘーゲルの研究—イエーナ初期におけるフィヒテ批判について	美作女子大学・美作女子短期大学研究紀要		24	1979	p1～14
坊城明文	「批判、反省、ニヒリズム」—ヘーゲル初期論理学の成立過程をめぐって	思索		12	1979	p39～59
星敏雄	「自己は物である」—ヘーゲルにおける無限判断と無限性	哲学雑誌	94	766	1979	p183～200

星野勉	自由と疎外－ヘーゲルの「疎外論」のための一試論	社会科学紀要	29	1979	p147～158
堀川哲	近代的個人のディレンマとヘーゲルの社会哲学	法政大学大学院紀要	3	1979	p127～138
本多修郎	世界を創った神の悲劇－ベームとヘーゲルにみる神秘主義思想と弁証法	日本及日本人	1553	1979	p86～94
牧野広義	ヘーゲルのカテゴリー論	哲学(日本哲学会)	29	1979	p150～160
森田郁男	ヘーゲルと哲学と悲劇的なもの	東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学	30	1979	p125～138
安井郁夫	努力の総合とイデールな統一	理想	554	1979	p82～106
山下正男	論理学におけるヘーゲル弁証法の位置(〔京都大学人文科学研究所〕創立五十周年記念論文集)	人文学報(京都大学人文科学研究所)	47	1979	p291～308
山城昭健	ヘーゲルの実践意識における無限性への運動1－『精神現象学』の「自己意識」について	白山哲学	13	1979	p100～124
渡辺明照	天台円融論における弁証法的思惟－ヘーゲル哲学と関説させて	比較思想研究	6	1979	p78～88

渡辺明照	思惟形態における同相(統一)と異相(区別)―「大乘起信論」とヘーゲル哲学の対照を通路として(〔比較思想学会〕研究例会発表要旨・昭和五三年度第4回)	比較思想研究	6	1979	p108～112
石橋とし江	ヘーゲルの自己意識と無 限性	哲学年誌	13	1979・80	p45～69